

昭和40事業年度財務諸表

添付書類

1. 事業報告書
2. 決算報告書

海外移住事業団

援護課

JICA
1000
23.4
EM
LIBRARY

国際協力事業団	
受入 月日 '81 9.13	L000
登録No. 14918	23.4
	EM

財 務 諸 表

JICA LIBRARY



1023852[5]

財 産 目 録

昭和 41 年 3 月 31 日 現在

(単位 : 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流 動 資 産]	[90,652,935.6]	[流 動 負 債]	[90,155,628]
現 金	352,795,573	未 払 金	2,053,045
有 価 証 券	376,829,700	仮 受 金	4,089,465
貯 蔵 品	6,428,811	預 り 金	7,756,453
仮 払 金	153,751,918	国 庫 預 り 金	75,653,570
未 収 金	4,013,503	前 受 金	623,095
前 払 金	12,432,168	[渡 航 費 貸 付 負 債]	[5,443,839,734]
未 達 勘 定	277,683	渡 航 費 貸 付 資 金 借 入 金	5,443,839,734
[渡 航 費 貸 付 資 産]	[5,443,839,734]	[入 植 地 負 債]	[1,013,994,859]
渡 航 費 貸 付 金	5,443,839,734	割 賦 契 約 高	18,881,280
[入 植 地 資 産]	[1,844,297,401]	分 譲 代 金 収 納 金	151,860,507
入 植 分 譲 地	335,361,118	造 成 工 事 仮 受 金	47,912,322
割 賦 契 約 分 譲 高	18,881,280	ガ タ パ ラ 事 業 分 担 金 受 入 金	513,778,818
造 成 工 事 支 出 金	89,655,114.5	ガ タ パ ラ 入 植 地 分 譲 代 金 収 納 金	91,120,000
ガ タ パ ラ 事 業 分 担 金	100,000,000	ガ タ パ ラ 事 業 収 入 金	190,441,932
ガ タ パ ラ 事 業 支 出 金	795,328,858	[固 定 負 債]	[400,000,000]
[融 資 資 産]	[929,605,708]	長 期 借 入 金	400,000,000
貸 付 金	795,543,324	[引 当 金]	[373,518,423]
出 資 金	134,062,384	交 付 金 資 産 引 当 金	223,177,865
[固 定 資 産]	[1,438,988,526]	現 地 法 人 交 付 金 資 産 引 当 金	150,340,558
(有 形 固 定 資 産)	(993,744,643)		
土 地	121,838,835		
建 物	394,538,886		
構 築 物	17,726,009		
建 物 付 属 設 備	27,173,548		
機 械 装 置	12,931,363		
船 舶	271,1452		
車 輛 運 搬 具	305,751,623		
什 器 備 品	102,938,679		
建 設 仮 勘 定	8,134,248		
(無 形 固 定 資 産)	(445,243,883)		
電 話 加 入 権	1,402,094		

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
差 入 保 証 金	442,224,815		
出 資 金	100,000		
電気供給施設利用権	1,516,974		
[現地法人勘定]	[1,196,442,483]		
✓ 現地法人貸付金	765,792,981		
✓ 現地法人出資金	430,649,502		
[現地法人交付金資産貸付金]	[150,340,558]		
ジャミック交付金資産貸付金	150,105,177		
イジウシンコウ 交付金資産貸付金	235,381		
[円換算調整勘定]	[85,293,808]		
合 計	11,995,337,574	合 計	7,321,508,644
		差引純資産	4,673,828,930

貸借対照表

昭和41年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金額	科 目	金額
[流動資産]	[90,652,935.6]	[流動負債]	[90,155,628]
現金預金	352,795,573	未払金	205,3045
有価証券	37,682,970	仮受金	4,089,465
貯蔵品	6,428,811	預り金	7,736,453
仮払金	153,751,918	国庫預り金	75,653,570
未収金	4,013,503	前受金	623,095
前払金	12,432,168	[渡航費貸付負債]	[5,443,839,734]
未達勘定	27,683	渡航費貸付資金借入金	5,443,839,734
[渡航費貸付資産]	[54,438,397.34]	[入植地負債]	[1,013,994,859]
渡航費貸付金	54,438,397.34	割賦契約高	18,881,280
[入植地資産]	[1,844,297,401]	分譲代金収納金	15,186,0507
入植分譲地	33,536,118	造成工事仮受金	47,912,322
割賦契約分譲高	18,881,280	ガタバラ事業分担保受入金	51,377,8818
造成工事支出金	89,655,1145	ガタバラ事業分譲代金収納金	9,112,0000
ガタバラ事業分担保金	100,000,0000	ガタバラ事業収入金	190,441,932
ガタバラ事業支出金	79,532,8858	[固定負債]	[400,000,000]
[融資資産]	[929,605,708]	長期借入金	400,000,0000
貸付金	795,543,324	[引当金]	[373,518,423]
出資金	134,062,384	交付金資産引当金	223,177,865
[固定資産]	[1,438,988,526]	現地法人交付金資産 当金	150,340,558
(有形固定資産)	(993,744,643)	[見返負債]	[3,730,322,018]
土地	121,838,835	旧勘定より借	1,497,143,919
建物	394,538,886	新勘定より借	2,233,178,099
構築物	17,726,009	[資本]	[4,673,828,930]
建物付属設備	27,173,548	資本	5,109,963,570
機械装置	12,931,363	資本準備金	464,876,416
船舶	2,711,452	資本剰余金	15,967,024
車輻運搬器具	305,751,623	当期末処理金	△ 916,978,080
什器備品	102,938,679	(前期繰越損金)	(△ 90,673,2597)
建設仮勘定	8,134,248	(当期利益金)	(△ 10,245, 483)
(無形固定資産)	(445,243,883)		
電話加入権	1,402,094		
差入保証金	442,224,815		

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
出 資 金	10,000		
電気供給施設利用権	1,516,974		
[見返資産]	[3,730,322,018]		
旧勘定へ貸	2,253,178,099		
新勘定へ貸	1,497,143,919		
[現地法人勘定]	[1,196,442,483]		
現地法人貸付金	76,579,298		
現地法人出資金	43,064,950		
[現地法人交付金資産貸付金]	[150,340,558]		
ジャミック交付金資産貸付金	15,010,517		
イジュンコンコ 交付金資産貸付金	235,381		
[円換算調整勘定]	[85,293,808]		
合 計	15,725,659,592	合 計	15,725,659,592

損益計算書

自昭和40年4月1日

至昭和41年3月31日

(単位：円)

損失の部		利益の部	
科目	金額	科目	金額
[支払利息]	[26,794,739]	[交付金収入]	[1,084,088,352]
長期借入金利息	26,794,739	交付金	1,084,088,352
[現地法人交付金]	[105,408,032]	[受取利息]	[82,228,322]
[特殊事業費用]	[1,295,065]	貸付金利息	23,464,485
直営事業費用	1,295,065	預金利息	13,256,395
[業務経費]	[811,082,263]	有価証券利息	13,529,589
業務経費	811,082,263	受入雑利息	3,177,853
管理費	70,639,828	[特殊事業収入]	[973,873]
事業費	104,684,035	直営事業収入	973,873
[雑損]	[32,950,784]	[雑益]	[53,230,513]
外国為替差損	2,473,464	外国為替差益	1,229,127
雑損	30,477,320	雑収入	15,079,514
[引当費用]	[183,274,616]	雑益	36,921,872
引当費用	183,274,616	[地方事務所収入]	[742,661]
交付金資産引当費	106,293,454		
現地法人交付金資産引当費	74,931,162		
[諸償却費]	[13,041,142]		
諸償却費	13,041,142		
建物減価償却費	3,329,266		
構築物減価償却費	1,959,134		
建物付属設備減価償却費	3,987,350		
機械装置減価償却費	110,908		
車輛搬搬具減価償却費	2,695,840		
什器備品減価償却費	95,8644		
[貸倒損失]	[57,662,563]		
[当期利益金]	[△ 10,245,483]		
貸倒損失	57,662,563		
当期利益金	(10,245,483)		
合計	1,221,263,721	合計	1,221,263,721

(注) 財務諸表の作成にあたっては次の手続を行なった。

1. 海外支部の貸借対照表については昭和41年3月31日の銀行公定レートをもって円額に換算評価したうえ、本部及び移住センターの貸借対照表と合併した。但し本部勘定については支部に対する投資原資円額をもって表示し、銀行公定レートによる換算円額との差額は「円換算調整勘定」をもって表わし貸借一致を行なった。
2. 海外支部の損益計算書については本部から送金を受けて支払った損費は、これに対応する投資原資円額をもって評価し、その他の収益損費は前記銀行公定レートをもって円額に換算評価したうえ、本部及び移住センターの損益計算書と合併した。

3 レ ー ト

アスンシオン支部	$\frac{36,255 \text{ 円}}{126 \text{ ガラニ}} = 287,738.0952 \text{ 円}$
ブエノス・アイレス支部	$\frac{36,255 \text{ 円}}{188 \text{ ペソ}} = 1,928.4574468 \text{ 円}$
サンタ・クルス支部	$\frac{36,255 \text{ 円}}{12 \text{ ペソ(ポリビア)}} = 3,021.25 \text{ 円}$
サント・ドミンゴ支部	$\frac{36,255 \text{ 円}}{1 \text{ ペソ}} = 36,255 \text{ 円}$

財 務 諸 表 内 訳 表

勘 定 別 貸 借 対 照 表

昭 和 4 1 年 3 月 3 1 日 現 在

(単 位 : 円)

科 目	資 産 の 部					科 目	負 債 ・ 資 本 の 部				
	一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計		一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計
[流動資産]	(870687398)			(35841958)	(906529356)	[流動負債]	(83,117,748)	(6,429)	(65,230)	(69,662,21)	(90,155,628)
現金預金	352,783,681			11,892	352,795,573	未払金	1,940,213	2,329		110,503	205,3045
有価証券	375,814,700			1,015,000	376,829,700	仮受金	2,504,545		47,816	1,537,104	4,089,465
貯蔵品				6,428,811	6,428,811	預り金	301,9420		17,414	469,619	7,736,453
仮払金	130,166,586			23,585,332	153,751,918	国庫預り金	756,53570				756,53570
未収金	267,9275			1,334,228	4,013,503	前受金		4,100		618,995	623,095
前払金	8,965,473			3,466,95	12,432,168						
未達勘定	27,683				27,683						
[渡航費貸付資産]			(5,443,839,734)		(5,443,839,734)	[渡航費貸付負債]			(5,443,839,734)		(5,443,839,734)
渡航費貸付金			5,443,839,734		5,443,839,734	渡航費貸付資金借入金			5,443,839,734		5,443,839,734
[入植地資産]				(1,844,297,401)	(1,844,297,401)	[入植地負債]				(1,013,994,859)	(1,013,994,859)
入植分譲地				33,536,118	33,536,118	割賦契約高				188,812,80	188,812,80
割賦契約分譲高				188,812,80	188,812,80	分譲代金収納金				151,860,507	151,860,507
造成工事支出金				896,551,145	896,551,145	造成工事仮受金				47,912,322	47,912,322
ガタバラ事業分担金				100,000,000	100,000,000	ガタバラ 事業分担金受入金				513,778,818	513,778,818
ガタバラ事業支出金				795,328,858	795,328,858	ガタバラ 入植地分譲代金収納金				91,120,000	91,120,000
						ガタバラ事業収入金				190,441,932	190,441,932
[融資資産]		(22,138,6748)		(708,218,960)	(929,605,708)	[固定負債]	(400,000,000)				(400,000,000)
貸付金		22,138,6748		574,156,576	795,543,324	長期借入金	400,000,000				400,000,000
出資金				134,062,384	134,062,384	[引当金]	(373,518,423)				(373,518,423)
[固定資産]	(1,030,664,190)			(408,324,336)	(1,438,988,526)	交付金資産引当金	223,177,865				223,177,865
[有形固定資産]	(935,423,760)			(583,208,83)	(993,744,643)	現地法人交付金資産引当金	150,340,558				150,340,558

科 目	資 産 の 部					科 目	負 債 ・ 資 本 の 部				
	一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計		一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計
土地	115,901,986			59,368,849	121,838,835	〔見返負債〕	(1,497,143,919)			(223,317,809)	(3,730,322,018)
建物	371,853,874			22,850,12	394,538,886	旧勘定より借	1,497,143,919				1,497,143,919
構築物	17,726,009				17,726,009	新勘定より借				223,317,809	2,233,178,099
建物付属設備	27,173,548				27,173,548	〔資本〕	(2,349,839,986)			(3,240,967,024)	(5,590,807,010)
機械装置	9,961,916			2,969,447	12,931,363	資本金	1,884,963,570			3,225,000,000	5,109,963,570
船舶	2,587,261			124,191	2,711,452	資本準備金	464,876,416				464,876,416
車輛運搬具	284,665,531			210,860,92	305,751,623	資本剰余金				15,967,024	15,967,024
什器備品	97,419,387			5,519,292	102,938,679	〔当期末処理金〕	(30,081,011)	(9,653,987)		(△956,713,078)	(△9,169,780)
建設仮勘定	8,134,248				8,134,248	前期繰越益金	32,453,660	451,5625			36,969,285
(無形固定資産)	(95,240,430)			(350,003,453)	(445,243,883)	前期繰越損金				△943,701,882	△943,701,882
電話加入権	1,398,441			3453	1,402,094	当期利益金		5,138,362			5,138,362
差入保証金	922,248,15			350,000,000	442,224,815	当期欠損金	△2,372,649			△13,011,196	△15,383,845
出資金	100,000				100,000						
電気供給施設利用権	1,516,974				1,516,974						
〔見返資産〕	(223,317,809)			(1,497,143,919)	(3,730,322,018)						
旧勘定へ貸	223,317,809				223,317,809						
新勘定へ貸				1,497,143,919	1,497,143,919						
〔現地法人勘定〕	(227,472,432)			(96,897,005)	(1,196,442,483)						
現地法人貸付金	200,798,556			56,499,425	765,792,981						
現地法人出資金	266,738,76			403,975,626	430,649,502						
〔現地法人交付金資産貸付金〕	(150,340,558)				(150,340,558)						
ジャミック 交付金資産貸付金	150,105,177				150,105,177						
イジュウシンコウ 交付金資産貸付金	235,381				235,381						
〔円換算調整勘定〕	(9,697,308)			(7,559,650)	(85,293,808)						
小 計	4,522,039,985	221,386,748	5,443,839,734	55,383,93,125	15,725,659,592	小 計	4,733,701,087	9,660,416	5,443,904,964	55,383,93,125	15,725,659,592

科 目	資 産 の 部					科 目	負 債 ・ 資 本 の 部				
	一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計		一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計
〔連結勘定〕	(441,449,917)			(888,325,660)	(1,329,775,577)	〔連結勘定〕	(441,449,917)			(888,325,660)	(1,329,775,577)
アスンシオン支部勘定	(230,876,665)			(769,304,848)	(1,000,181,513)	本部勘定	(796,638,310)			(889,983,792)	(1,686,622,102)
損益振替額	(Δ125,670,139)			(Δ 95,107,5)	(Δ126,621,214)	損益振替額	(Δ355,188,393)			(Δ 1,658,132)	(Δ356,846,525)
当期末残高	105,206,526			768,353,773	873,560,299	当期末残高	441,449,917			888,325,660	1,329,775,577
プエノス・アイレス支部勘定	(104,586,174)			(112,773,848)	(217,360,022)						
損益振替額	(Δ 43,658,005)			(Δ 91,848)	(Δ 43,749,853)						
当期末残高	60,928,169			112,820,000	173,610,169						
サンタ・クルス支部勘定	(136,295,077)			(790,509,6)	(144,200,173)						
損益振替額	(Δ123,273,259)			(Δ 615,209)	(Δ123,888,468)						
当期末残高	13,021,818			7,289,887	20,311,705						
サント・ドミンゴ支部勘定	(12,665,915)				(12,665,915)						
損益振替額	(Δ 11,655,677)				(Δ 11,655,677)						
当期末残高	1,010,238				1,010,238						
神戸センター勘定	(930,114,32)				(930,114,32)						
損益振替額	(Δ 255,326,83)				(Δ 255,326,83)						
当期末残高	67,478,749				67,478,749						
横浜センター勘定	(219,203,047)				(219,203,047)						
損益振替額	(Δ 253,986,30)				(Δ 253,986,30)						
当期末残高	193,804,417				193,804,417						
合 計	4,963,489,902	22,138,6748	5,443,839,734	6,426,718,785	17,055,435,169	合 計	5,175,151,004	9,660,416	5,443,904,964	6,426,718,785	17,055,435,169

勘 定 別 損 益 計 算 書

自昭和 40 年 4 月 1 日 至昭和 41 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目	損 失 の 部					科 目	利 益 の 部				
	一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計		一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計
[支 払 利 息]	(26,000,000)			(7,947,39)	(26,794,739)	[交 付 金 収 入]	(1,084,088,352)				(1,084,088,352)
長期借入金利息	26,000,000			7,947,39	26,794,739	交 付 金	1,084,088,352				1,084,088,352
[現地法人交付金]	(105,408,032)				(105,408,032)	[受 取 利 息]	(3,089,465)	(5,469,566)		(45,864,151)	(82,228,322)
[特殊事業費用]				(1,295,065)	(1,295,065)	貸 付 金 利 息		4,716,173		18,748,312	23,464,485
直 営 事 業 費 用				1,295,065	1,295,065	預 金 利 息	13,256,395				13,256,395
[業 務 経 費]	(80,602,011)	(48,210)		(50,139,41)	(81,108,226)	有 価 証 券 利 息	13,410,214			11,937,5	13,529,589
管 理 費	70,133,607	48,210		50,139,41	70,639,828	受 入 雑 利 息	4,227,996	7,533,93		26,996,464	31,977,853
事 業 費	10,468,403				10,468,403	[特 殊 事 業 収 入]				(97,387,3)	(97,387,3)
[雑 損]	(27,340,182)	(28,299,4)		(53,276,08)	(32,950,784)	直 営 事 業 収 入				97,387,3	97,387,3
外 国 為 替 差 損	1,787	28,299,4		2,188,683	2,473,464	[雑 益]	(41,342,395)			(11,888,118)	(53,230,513)
雑 損	27,338,395			3,138,925	30,477,320	外 国 為 替 差 益	1,229,077			50	1,229,127
[引 当 費 用]	(183,274,616)				(183,274,616)	雑 収 入	12,859,282			2,220,232	15,079,514
交 付 金 資 産 引 当 費	106,293,454				106,293,454	雑 益	27,254,036			9,667,836	36,921,872
現 地 法 人 交 付 金 資 産 引 当 費	76,981,162				76,981,162	[地 方 事 務 所 収 入]	(742,661)				(742,661)
[諸 償 却 費]	(11,397,720)			(1,643,422)	(13,041,142)						
建 物 減 価 償 却 費	3,329,266				3,329,266						
構 築 物 償 却 費	1,959,134				1,959,134						
建 物 付 属 設 備 償 却 費	3,987,350				3,987,350						
機 械 装 置 償 却 費	110,908				110,908						
車 輛 運 搬 具 償 却 費	1,701,680			994,160	2,695,840						

科 目	損 失 の 部					科 目	利 益 の 部				
	一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計		一般勘定	融資勘定	渡航費貸付勘定	旧勘定	計
什器備品償却費	309,382			649,262	958,644						
[貸倒損失]				[57,662,563]	[57,662,563]						
[当期利益金]	[△237,264]	[5,138,362]		[△130,111,196]	[△102,454,83]						
合 計	1,157,068,013	5,469,566		587,261,142	1,221,263,721	合 計	1,157,068,013	5,469,566	587,261,142	1,221,263,721	

本。支部合併貸借対照表

昭和41年3月31日現在

I 資産の部

(単位:円)

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	ブエノス・アイレス支部	サンタ・クルズ支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
〔流動資産〕	(811,532,079)	(40,087,798)	(36,430,503)	(14,930,081)	(1,338,386)	(22,105,09)	(906,529,356)
現金預金	280,243,015	20,743,744	36,430,503	12,138,383	1,338,386	1,901,542	352,795,573
有価証券	376,829,700						376,829,700
貯蔵品		6,428,811					6,428,811
仮払金	153,745,243	6,675					153,751,918
未収金	40,400	2,034,123		1,938,980			4,013,503
前払金	396,038	10,874,445		852,718		308,967	12,432,168
未達勘定	277,683						277,683
〔渡航費貸付資産〕	(5,443,839,734)						(5,443,839,734)
渡航費貸付金	5,443,839,734						5,443,839,734
〔入植地資産〕	(949,318,190)	(826,000,200)	(68,979,011)				(1,844,297,401)
入植分譲地	33,536,118						33,536,118
割賦契約分譲高	18,881,280						18,881,280
造成工事支出金	1,571,934	826,000,200	68,979,011				896,551,145
ガタバラ事業分担金	10,000,000						10,000,000
ガタバラ事業支出金	795,328,858						795,328,858
〔融資資産〕	(929,605,709)						(929,605,708)
貸付金	795,543,324						795,543,324
出資金	134,062,384						134,062,384
〔固定資産〕	(967,647,599)	(102,122,993)	(882,1207)	(96,242,362)	(4,178,994)	(259,975,371)	(1,438,988,526)
(有形固定資産)	(524,956,799)	(101,033,131)	7,419,861	(96,180,487)	(4,178,994)	(259,975,371)	(993,744,643)
土地	31,759,486	4,773,154		1,163,695		84,142,500	12,183,835

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	ブエノス・アイレス支部	サンタクルス支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
建 物	182,474,820	50,738,440	752,412	29,280,783		13,129,243	394,538,886
構 築 物	132,544	1,522,376		1,924,066		14,147,023	17,726,009
建 物 付 属 設 備	203,062					26,970,486	27,173,548
機 械 装 置	3,241,131	4,961,326	180,563	3,414,667	190,944	942,732	12,931,363
船 舶	2,587,261	124,191					2,711,452
車 輜 運 搬 具	212,523,854	24,366,088	5,141,794	58,915,164	3,814,896	989,827	305,751,623
什 器 備 品	92,034,641	6,978,404	779,996	1,482,112	173,154	1,490,372	102,938,679
建 設 仮 勘 定		7,569,152	565,096				8,134,248
(無形固定資産)	(442,690,800)	(1,089,862)	(1,401,346)	(61,875)			(445,243,883)
電 話 加 入 権	597,400	742,819		61,875			1,402,094
差 入 保 証 金	441,993,400		231,415				442,224,815
出 資 金	100,000						100,000
電 気 供 給 施 設 利 用 権		347,043	1,169,931				1,516,974
(見返資産)	(3,184,536,214)	(428,619,335)	(3,344,6244)	(62,624,529)	(21,095,696)		(3,730,322,018)
旧 勘 定 へ 貸	1,910,411,381	256,663,950	24,244,242	3,131,0678	10,547,848		2,233,178,099
新 勘 定 へ 貸	1,274,124,833	17,195,5385	9,202,002	3,131,3851	10,547,848		1,497,143,919
(現地法人勘定)	(1,196,442,483)						(1,196,442,483)
現 地 法 人 貸 付 金	765,792,981						765,792,981
現 地 法 人 出 資 金	430,649,502						430,649,502
(現地法人交付金資産貸付金)	(150,340,558)						(150,340,558)
ジャミック交付金資産貸付金	150,105,177						150,105,177
イジュウソウコウ 交付金資産貸付金	235,381						235,381
(支部勘定)	(1,686,622,102)						(1,686,622,102)
(円換算調整勘定)		(16,450,194)	(69,390,909)	(△545,442)	(△1,853)		(852,93,808)
合 計	15,319,884,667	1,413,280,520	217,067,874	17,325,1530	266,112,223	262,185,880	17,412,281,694

Ⅱ 負債・資本の部

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	フエノス・アイレス支部	サンタ・クルス支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
〔流動負債〕	(83,694,151)	(5,282,252)	(240,535)	(490,681)	(326,295)	(121,714)	(90,155,628)
未払金	1,084,456	930,449				38,140	2,053,045
仮受金	485,542	2,671,542	115,707	490,379	326,295		4,089,465
預り金	5,847,488	1,680,261	124,828	302		83,574	7,736,453
国庫預り金	75,653,570						75,653,570
前受金	623,095						623,095
〔渡航費貸付負債〕	(5,443,839,734)						(5,443,839,734)
渡航費貸付資金借入金	5,443,839,734						5,443,839,734
〔入植地負債〕	(966,082,537)	(45,980,010)	(1,932,312)				(1,013,994,859)
割賦契約高	18,881,280						18,881,280
分譲代金収納金	151,860,507						151,860,507
造成工事仮受金		45,980,010	1,932,312				47,912,322
ガタバラ事業分担金受入金	513,778,818						513,778,818
ガタバラ入植地分譲代金収納金	91,120,000						91,120,000
ガタバラ事業収入金	190,441,932						190,441,932
〔固定負債〕	(400,000,000)						(400,000,000)
長期借入金	400,000,000						400,000,000
〔引当金〕	(211,056,576)	(59,838,624)	(7,838,614)	(89,824,615)	(4,178,994)	(781,000)	(373,518,423)
交付金資産引当金	60,716,018	59,838,624	7,838,614	89,824,615	4,178,994	781,000	223,177,865
現地法人交付金資産引当金	150,340,558						150,340,558
〔見返負債〕	(3,184,536,214)	(428,619,335)	(33,446,244)	(62,624,529)	(21,095,966)		(3,730,322,018)
旧勘定より借	1,274,124,833	17,195,385	9,202,002	31,313,851	10,547,848		1,497,143,919
新勘定より借	1,910,411,381	25,666,950	24,244,242	31,310,678	10,547,848		2,233,178,099

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	フエノス・アイレス支部	サンタ・クルス支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
〔資 本〕	(5590,807,010)						(5,590,807,010)
資 本 金	5,109,963,570						5,109,963,570
資 本 準 備 金	464,876,416						464,876,416
資 本 剰 余 金	15,967,024						15,967,024
〔当期未処理金〕	(△560,131,555)	(△126,621,214)	(△43,749,853)	(△123,888,468)	(△11,655,677)	(△50,931,313)	(△916,978,080)
前 期 繰 越 益 金	36,969,285						36,969,285
前 期 繰 越 損 金	△943,701,882						△943,701,882
当 期 利 益 金	346,601,042						346,601,042
当 期 欠 損 金		△126,621,214	△43,749,853	△123,888,468	△11,655,677	△50,931,313	△356,846,525
〔本部勘定〕		(1,000,181,513)	(217,360,022)	(144,200,173)	(12,665,915)	(312,214,479)	(1,686,221,024)
合 計	15,319,884,667	1,413,280,520	217,067,874	173,251,530	26,112,223	262,185,880	17,412,281,694

本。支部合併損益計算書

自昭和40年4月1日 至昭和41年3月31日

I 利益の部

(単位:円)

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	ブエノス・アイレス支部	サンタ・クルス支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
[交 付 金 収 入]	(1,084,088,352)						(1,084,088,352)
交 付 金	1,084,088,352						1,084,088,352
[受 取 利 息]	(82,095,593)					(13,2729)	(82,228,322)
貸 付 金 利 息	23,464,485						23,464,485
預 金 利 息	13,123,666					13,2729	13,256,395
有 価 証 券 利 息	13,529,589						13,529,589
受 入 雑 利 息	3,197,853						3,197,853
[特 殊 事 業 収 入]		(863,246)		(110,627)			(973,873)
直 営 事 業 収 入		863,246		110,627			973,873
[雑 益]	(40,143,309)	(5,792,956)	(1,350,638)	(4,633,111)		(1,310,499)	(53,230,513)
外 国 為 替 差 益		50	1,065,847	163,230			1,229,127
雑 収 入	3,231,049	5,783,294	284,791	4,469,881		1,310,499	15,079,514
雑 益	36,912,260	9,612					36,921,872
[地 方 事 務 所 収 入]	(742,661)						(742,661)
合 計	1,207,069,915	6,656,202	1,350,638	4,743,738	0	1,443,228	1,221,263,721

Ⅱ 損失の部

科 目	金 額						計
	本 部	アスンシオン支部	アエノス・アイレス支部	サンタ・クルス支部	サント・ドミンゴ支部	神戸・横浜センター	
〔支 払 利 息〕	(26,794,739)						(26,794,739)
長期借入金利息	26,794,739						26,794,739
〔 現地法人交付金 〕	(10,540,032)						(10,540,032)
〔 特殊事業費用 〕		(1,035,396)		(259,669)			(1,295,065)
直 営 事 業 費 用		1,035,396		259,669			1,295,065
〔 業 務 経 費 〕	(54,626,462)	(10,589,605)	(44,170,818)	(62,492,163)	(10,257,448)	(41,999,318)	(811,082,263)
管 理 費	50,846,037	74,187,300	38,574,404	34,338,361	9,740,320	41,097,472	70,639,828
事 業 費	37,806,091	31,708,754	55,964,414	28,153,802	517,128	901,846	104,684,035
〔 雑 損 〕	(3,254,696)	(65)	(3)	(371,123)	(32,630)		(3,295,078)
外 国 為 替 差 損	2,473,399	65					2,473,464
雑 損	30,073,564		3	371,123	32,630		30,477,320
〔 引 当 費 用 〕	(90,500,781)	(25,566,561)	(837,822)	(64,562,519)	(1,071,933)	(735,000)	(183,274,616)
交付金資産引当費	13,519,619	25,566,561	837,822	64,562,519	1,071,933	735,000	106,293,454
現地法人交付金資産引当費	76,981,162						76,981,162
〔 諸 償 却 費 〕	(1,289,333)	(779,340)	(91,848)	(946,732)	(293,666)	(9,640,223)	(13,041,142)
建 物 減 価 償 却 費	88,022					3,241,244	3,329,266
構 築 物 償 却 費						1,959,134	1,959,134
建 物 付 属 設 備 償 却 費						3,987,350	3,987,350
機 械 装 置 償 却 費						110,908	110,908
車 輛 運 搬 具 償 却 費	679,586	658,473		913,832	293,666	150,283	2,695,840
什 器 備 品 償 却 費	521,725	120,867	91,848	32,900		191,304	958,644
〔 貸 倒 損 失 〕	(57,662,563)						(57,662,563)
〔 当 期 利 益 金 〕	(346,601,042)	(126,621,214)	(437,498,53)	(123,888,468)	(11,655,677)	(50,931,313)	(1,024,548,3)
合 計	1,207,069,915	66,562,202	1,350,638	4,743,738	0	1,443,228	1,221,263,721

1. 事業報告書

緒 論

海外移住事業団は昭和 38 年 7 月 15 日設立されて以来、組織体制の整備と旧会社および旧海協連からの承継業務の調整を図るとともに、既移住者の定着安定の促進と潜在移住希望者の顕在化に努める施策を中心に海外移住の振興に努力してきた。その結果、組織については、国内においては全国都道府県に地方事務所が設置されるとともに、横浜・神戸両移住センターの外務省からの移管が実現し、国外においてはサンパウロ市に技術移住センターが設置され、一応、国の内外を通じ、一貫して移住者の援助および指導その他海外移住の振興に必要な業務を行なう体制が整備された。承継業務の調整については、移住者渡航費の補助金化、ガタパラ事業の改善、パラグアイ国移住地油桐対策、サンファン移住地再建対策等重要調整事項の解決策について成案を得るに至った。また移住の振興については、国内事情その他諸般の事情により遺憾ながら所期の成果を挙げるができなかった。しかしながら最近の実状をみると、国内特定地域の農業集団移住の計画、技術移住の進展、先進国移住の積極化等海外移住進展の徴候が現われ、また、移住の実績は移住者層が家族移住者より単身青年移住者に移行する傾向を示し、移住者の資質の向上を実証している。このように最近では移住振興の機運が次第にたかまりつつあり、特に移住者の資質の改善について期待がもてるようになってきている。

I 業務の概要

昭和 40 年度において海外移住事業団が実施した業務の概要は次のとおりである。

1. 海外移住に関する調査及び知識の普及を行なう業務

海外移住および海外移住地に関し、各種調査統計及び分析を実施するとともに、印刷物の発行配付、展示会講演会の開催、テレビ放送等により海外移住に関する知識の普及に努めた。

2. 海外移住に関し相談に応じ及びあっせんを行なう業務

主として地方事務所を通じて、文書、来訪、電話等により海外移住に関し相談を受けあっせんを行なうとともに技術移住に関しては、海外における求人の開拓に努める一方、国内の技術者から求職連絡を受けこれのあっせんを行なった。なお、昭和 40 年度における海外移住者の送出実績（渡航費貸付関係）は次のとおりである。

	移住者数	(内単身)
ブラジル	531名	(349名)
アルゼンチン	147	(92)
パラグアイ	121	(3)
ウルグアイ	5	(2)
チリ	4	(0)
メキシコ	3	(0)
ドミニカ	1	(1)

ボ リ ビ ア 6 (0)
計 818 名 (447) 名

3. 移住者に対して訓練及び講習並びに渡航費の貸付け及び支度金等の支給を行なう業務

(1) 移住者に対する訓練および講習

海外移住研修所において、移住希望者に対する訓練を実施するとともに、国内外において移住者に対して各種の講習会研修会等を開催した。

(2) 渡航費の貸付

40 年度的一般渡航費貸付実績は 547 件 (818 名) 79,101,954 円であり、累計は 17,985 件 (57,910 名) 5,450,399,256 円に達した。うち 40 年度末までの期限到来分は 1590 件 189,133,304 円であるが、これに対する回収実績は 294,094 円で回収率は 0.155 % にすぎない。

(3) 支度金等の交付

40 年度においては移住者に対し、支度金の補助として 5,374,250 円、集結旅費の補助として 250,604 円、計 5,624,854 円を交付した。

4. 移住者の渡航に関し、宿泊施設の提供、引率その他援助及び指導を行なう業務

移住者の渡航前の宿舎には神戸・横浜両センターを充て、移住先においては必要に応じ、各地の移住者宿泊所を一時の宿泊施設として提供するとともに、移住者の輸送にあたっては、移住業務に精通している者のうちから引率者を任命して、船中における移住者の援護、指導にあたりしめた。また技術移住者の現地生活の安定と初期の就労態勢準備を援護するため、前年度よりブラジル国サンパウロ市に建設中であった技術移住センターは 41 年 2 月完成し、援護活動を開始した。

5. 海外において移住者の専業、職業、その他移住者の生活一般について相談に応じ及び指導を行なう業務

農業移住者に対して相談に応じ指導を行なうために各支部において農場を運営するとともに、そこで各種試験研究を行なった。また委託栽培を行ない営農改善に役立てるとともに営農相談会、営農講習会等を開催し、その他一般の移住者に対しても各種相談および指導にあたった。

6. 海外において、移住者の定着のため必要な福祉施設の整備その他の援助を行なう業務

医療衛生に関する事業として診療施設の整備および運営、巡回診療の実施、特約医の設置、マラリヤ予防対策、研修医の内地受入等を行なうとともに、教育に関して移住国の施設を補完して教師謝金の支給、学校施設および教材の整備等を行ない、また道路の補修、治安施設の整備等その他の公共施設の整備にも努め、さらに農業協同組合の育成を図るため、営農指導、生活指導等の事業に要する費用の一部を補助した。

7. 移住者が入植するための土地の取得、造成、管理及び譲渡並びに取得のあっせんを行なう業務

40 年度においては新たな入植地の取得はなく、既存の 12 の入植地について造成、管理、譲渡等の業務を行なった。この結果 40 年度中に造成を終えたロッテ数は 131 ロット、分譲したロッテ数 79 ロットである。

8. 法第 21 条第 1 項第 8 号及び第 9 号に規定する融資業務

(1) 海外移住事業団本部扱融資

本部では 80,379,150 円の新規貸付を行ない、79,113,304 円の元本を回収し、25,442,861 円の利息収入をあげた。

(2) イジュウシンコウ信用金融株式会社扱融資

イジュウシンコウでは825,702,000 クルゼイロ(135,763,383 円)の新規貸付を行ない、35,188,6531 クルゼイロ(57,857,805円)の元本を回収し、104,199,728 クルゼイロ(17,132,703円)の利息収入をあげた。

9. 法第21条第1項第11号に規定する特殊業務

付帯業務または特殊業務として前年に引続き、3牧場および4倉庫の運営を行なった。

以上が40年度において実施した業務の概要であるが、なお、詳細については決算報告書に添付した業務報告書に記載したとおりである。

II 機構および人員

1. 特定地域海外移住推進対策本部の設置

海外移住事業団は、北海道開拓地農家の海外移住、東北村構想に基づく農業移住並びに高知県物部村および宮崎県野尻町の集団移住等の円滑、適確な推進を図るため、6月7日柏村理事を対策本部長として特定地域海外移住推進対策本部を設置した。

2. 運営審議会等の開催

運営審議会および海外移住懇談会を次のとおり開催した。

名 称	開催日	場 所	出席者	審議または懇談の内容
第4回運営審議会	40.7.27	事業団理事長室	委員 10名	41年度業務運営方針、予算編成方針等
第4回海外移住懇談会	40.7.28	〃	会員 12名	〃
第5回運営審議会	41.3.25	帝国ホテル	委員 9名	39年度交付金関係決算状況、40年度送出実績等

3. 人 員

昭和40年度における新規採用者は54名、退職者57名であって、3名の減員となったので昭和41年3月31日現在の定員および現員は次のとおりである。

	定 員	現 員
本 部(含移住研修所)	106	105
移住センター	46	42
神戸移住センター	23	20
横浜移住センター	23	22

地方事務所	152	146
支 部	175	162
派遣職員	68	62
現地職員	107	100
計	479	455

4. 職員研修の実施

職員訓練および職員の資質向上を図るため、地方事務所職員講習会をはじめとして 25 回の職員研修を実施した。

5. 規程等の整備

業務を円滑に行なうため、海外移住事業団職員宿舍貸与規程ほか 19 の規程・要綱等の整備を行なった。また法令規程集を作成し、その追録第 1 号を挿入した。

V 財務の概況

1. 海外移住事業団（除現地法人）

- (1) 昭和40年度末における資産の合計は移住者に対する援護業務等の実施に伴う固定資産の取得入植地事業の遂行等により15,725,659,592円となった。ただしこのなかには新旧勘定間の貸借処理による見返資産3,730,322,018円および現地通貨額を期末日レートをもって円額に換算し合併したことにより発生した円換算調整勘定85,293,808円が含まれている。
- (2) 海外移住事業団法施行令第13条に基づく措置の一環として旧勘定貸付金631,819,139円のうち57,662,563円は回収不能と認め直接償却した。
- (3) 長期借入金については期中においてファーストナショナルシティ銀行外貨長期借入金360,280,000円（\$1,000,000）および資産運用部長期借入金200,000,000円の返済を行なう一方、新たに資金運用部より400,000,000円の借入を行なった結果期末残高は400,000,000円となった。
- (4) 資本金については、期中において200,000,000円の現金による政府出資があったため資本金合計は51,099,635,570円となった。
- (5) 損益については収益総額1,221,263,721円に対し費用総額は1,231,509,204円で差引き10,245,483円の純損失が生じた。その結果40年度における未処理欠損金は916,978,080円に増加した。
- (6) 財務諸表に記載されているもののほか、渡航費貸付資金借入金5443,839,734円にたいする未払利息54,074,645円および未払延滞金184,684,621円の債務がある一方、渡航費貸付金5,443,839,734円にたいする同額の未収利息および未収延滞金の債権をもっている。

2. ジャミック移住民有限責任持分会社

- (1) 昭和40年度末における資産の合計は、移住者に対する援護業務等の実施に伴う固定資産の取得、入植地事業の遂行、現地法令に基づく固定資産の再評価等により2902,092,186クルセイロとなった。ただしこの中には新旧勘定間の貸借処理による見返資産821,310,467クルセイロが含まれている。
- (2) 事業団借入金については、造成工事費引当として395,817,663クルセイロが期中において増加した結果、期末残高は1,160,508,061クルセイロとなった。また交付金資産借入金については交付金見合固定資産購入引当として395,817,663クルセイロが期中に計上され、その期末残高は669,245,816クルセイロとなった。
- (3) 現地法令に基づき期中において固定資産の再評価を行なった結果137,108,478クルセイロの評価益を生じたが、このうち137,000,000クルセイロを増資に振り向け残額370,374クルセイロおよび前年度固定資産評価益261,896クルセイロ、合計632,270クルセイロを欠損金の補換に充てた。
- (4) 資本金については増資引当金80,000,000クルセイロの増資手続完了による資本金の増加および(3)の固定資産再評価益のうち137,000,000クルセイロの資本金への組入れの結果資本金の合計は299,000,000クルセイロとなった。
- (5) 損益については収益587,571,024クルセイロに対し費用は809,040,932クルセイロで差引き221,469,908クルセイロの純損失となったが、(3)の処理に伴って40年度における未処理欠損金は301,515,163クルセイロとなった。

3. イジュウシンコウ信用金融株式会社

- (1) 昭和40年度における資産の合計は貸付の実行等により7039,420,196クルセイロとなった。ただしこの中には見返資産が4,723,939,701クルセイロ含まれている。

- (2) 事業団借入金についてはスワップ更改に伴なう伯貨増等により 971,500,000 クルセイロの期中増があった一方、スワップ満期解約による 350,000,000 クルセイロの期中減があった結果、期末残高は 1,825,000,000 クルセイロとなった。
- (3) 資本金については増資引当金 167,000,000 クルセイロの増資手続完了による資本金の増加があったため資本金合計は 217,000,000 クルセイロとなった。
- (4) 損益については、収益 354,384,596 クルセイロに対し、費用は 284,031,073 クルセイロで差引き 70,353,523 クルセイロの純利益を生じた。
- (5) 前記純利益のうち、3,960,995 クルセイロは伯国株式会社法により法定積立金として、また 4,131,955 クルセイロは株主配当積立金として処理した。従って当期未処理利益金は 53,609,481 クルセイロである。

2. 決 算 報 告 書

(添 付 書 類)

業 務 報 告 書

決 算 報 告 書

I 予算総則に規定した事項に係る予算の結果説明

1. 予算総則第2条の規定により各勘定に属する経費の金額を勘定間相互に流用は行なわなかった。
2. 予算総則第3条の規定により指定した経費の金額に対し、あらかじめ外務大臣の承認を受けて相互に流用した経費および金額ならびに予備費を使用した経費および金額は、下記のとおりである。

勘 定	経 費	流 用 の 金 額	予 備 費 の 使 用 の 金 額
一 般 勘 定	(勘) 送 出 管 理 費	17,845,000 円	27,565,000 円
	(項) 報 酬	146,000	-
	(項) 基 本 給	2,589,000	-
	(項) 諸 手 当	1,463,000	-
	(項) 福 利 費	△ 1,013,000	-
	(項) 退 職 金	4,078,000	3,050,000
	(項) 内 国 旅 費	-	1,115,000
	(項) 外 国 旅 費	△ 1,418,000	9,400,000
	(項) 庁 費	-	4,000,000
	(項) 施 設 費	12,000,000	10,000,000
	(勘) 送 出 事 業 費	△ 6,845,000	615,000
	(項) 訓 練 講 習 費	△ 1,035,000	-
	(項) 広 報 お よ び 相 談 あ っ せ ん 費	-	615,000
	(項) 移 住 者 支 度 金	△ 5,810,000	-
	(勘) 地 方 事 務 所 費	2,791,000	4,131,000
	(項) 基 本 給	1,560,000	-
	(項) 諸 手 当	1,078,000	-
	(項) 福 利 費	△ 246,000	757,000
	(項) 退 職 金	399,000	547,000
	(項) 庁 費	-	1,535,000

勘定	経費	流用の金額	予備費の使用の金額
	(頃)差入保証金	-	1,292,000
(款)	移住センター費	90,000	1,073,000
(頃)	基本給	524,000	-
(頃)	諸手当	474,000	-
(頃)	福利費	△ 223,000	166,000
(頃)	退職金	52,000	170,000
(頃)	庁費	△ 737,000	-
(頃)	車輛運搬具購入費	-	737,000
(款)	受入管理費	△ 13,881,000	2,609,000
(頃)	基本給	△ 24,596,000	-
(頃)	諸手当	△ 299,000	-
(頃)	退職金	11,014,000	-
(頃)	庁費	-	2,479,000
(頃)	什器備品費	-	130,000
(款)	受入事業費	0	2,444,000
(頃)	調査費	-	60,000
(頃)	医療衛生費	△ 1,288,000	-
(頃)	医療費	-	1,284,000
(頃)	教育費	1,288,000	-
(頃)	車輛運搬具購入費	2,156,000	1,100,000
(頃)	道路補修費	△ 2,156,000	-
(款)	予備費	-	△ 38,437,000
(頃)	予備費	-	

勘 定 旧 勘 定	経 費 (款) 支 払 利 息	流用の金額	予備費の使用の金額
	(項) 長期借入金利息	△ 517,000	-
	(款) 管 理 費		
	(項) 利子配当所得税	517,000	-

3. 予算総則第4条の規定による、長期借入金の借入は行なわなかった。但し、昭和39事業年度予算総則第4条に規定された長期借入金の限度額未借入に伴なう翌事業年度への繰越額400,000,000円の長期借入金は借入れた。
4. 予算総則第5条により指定した経費の金額に対し、あらかじめ外務大臣の承認を受けて繰越した経費および金額は下記のとおりである。

一 般 勘 定

(款) 送 出 管 理 費	
(項) 施 設 費	22,087,605 円
(款) 受 入 管 理 費	
(項) 庁 費	157,495 円
(款) 受 入 事 業 費	1,582,340 円
(項) 医 療 衛 生 費	1,500,000 円
(項) 教 育 費	82,340 円

5. 予算総則第6条の規定による役職員の定員および給与の基準を超えてみだりに増加又は支給しなかった。

Ⅱ 収入支出決算書

(一般勘定)

収入

(単位：円)

款 項	予 算 額	収入決定済額	予算額と収入決定済額との差額	備 考
(款) 前期繰越金				
(項) 前期繰越金	384,631,000	505,763,698	△ 121,132,698	
(款) 交付金収入				
(項) 交付金収入	1,096,279,000	1,093,241,000	3,038,000	
(款) 出資金収入				
(項) 出資金収入	200,000,000	200,000,000	0	
(款) 運用部借入金収入				
(項) 運用部借入金収入	0	400,000,000	△ 400,000,000	
(款) 預金利息等収入				
(項) 預金利息等収入	9,620,000	13,909,191	△ 4,289,191	
(款) 受入雑利息				
(項) 受入雑利息	23,244,000	17,638,210	5,605,790	
(款) 雑収入				
(項) 雑収入	8,847,000	12,948,891	△ 4,101,891	
合 計	1,722,621,000	2,243,500,990	△ 520,879,990	

支 出

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度 からの繰越額	予備費の使 用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度 への繰越額	不用額	備 考
(款) 送 出 管 理 費	268,620,000	0	27,565,000	17,845,000	314,030,000	288,925,690	22,087,605	3,016,705	
(項) 報 酬	23,652,000	0	0	146,000	23,798,000	23,523,684	0	274,316	
(項) 基 本 給	81,833,000	0	0	2,589,000	84,422,000	84,364,557	0	57,443	
(項) 諸 手 当	37,429,000	0	0	1,463,000	38,892,000	38,766,350	0	125,650	
(項) 福 利 費	6,608,000	0	0	△1,013,000	5,595,000	4,910,148	0	684,852	
(項) 退 職 金	2,128,000	0	3,050,000	4,078,000	9,256,000	8,676,147	0	579,853	
(項) 諸 謝 金	2,471,000	0	0	0	2,471,000	2,336,620	0	134,380	
(項) 内 国 旅 費	2,810,000	0	1,115,000	0	3,925,000	3,826,207	0	98,793	
(項) 外 国 旅 費	43,154,000	0	9,400,000	△1,418,000	51,136,000	50,121,127	0	1,014,873	
(項) 庁 費	54,110,000	0	4,000,000	0	58,110,000	58,094,119	0	15,881	
(項) 交 際 費	1,350,000	0	0	0	1,350,000	1,347,474	0	2,526	
(項) 施 設 費	12,000,000	0	10,000,000	12,000,000	34,000,000	11,912,395	22,087,605	0	
(項) 機 械 器 具 購 入 費	283,000	0	0	0	283,000	281,500	0	1,500	
(項) 什 器 備 品 費	264,000	0	0	0	264,000	241,000	0	23,000	
(項) 運 営 審 議 会 費	528,000	0	0	0	528,000	524,362	0	3,638	
(款) 送 出 事 業 費	47,018,000	0	615,000	△6,845,000	40,788,000	38,310,980	0	2,477,020	
(項) 調 査 費	5,457,000	0	0	0	5,457,000	4,902,496	0	554,504	
(項) 渡 航 援 助 費	90,000	0	0	0	90,000	40,850	0	49,150	
(項) 研 修 医 受 入 費	2,910,000	0	0	0	2,910,000	1,952,121	0	957,879	
(項) 訓 練 講 習 費	5,663,000	0	0	△1,035,000	4,628,000	3,942,360	0	685,640	
(項) 海 外 移 住 研 修 所 費	2,868,000	0	0	0	2,868,000	2,860,109	0	7,891	
(項) 海 外 日 系 人 連 絡 補 助 費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	
(項) 広 報 及 び 相 談 あ っ せ ん 費	17,410,000	0	615,000	0	18,025,000	17,988,190	0	36,810	
(項) 移 住 者 支 度 費	11,620,000	0	0	△5,810,000	5,810,000	5,624,854	0	185,146	

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不用額	備 考
(款) 地方事務所費	161,199,000	0	4,131,000	2,791,000	168,121,000	166,973,943	0	1,147,057	
(項) 基本給	70,731,000	0	0	1,560,000	72,291,000	72,131,460	0	159,540	
(項) 諸手当	34,428,000	0	0	1,078,000	35,506,000	35,468,650	0	37,350	
(項) 福利費	4,718,000	0	757,000	△ 246,000	5,229,000	4,933,807	0	295,193	
(項) 退職金	1,380,000	0	547,000	399,000	2,326,000	2,208,963	0	117,037	
(項) 諸謝金	447,000	0	0	0	447,000	371,020	0	75,980	
(項) 内国旅費	12,841,000	0	0	0	12,841,000	12,822,979	0	18,021	
(項) 庁費	24,205,000	0	1,535,000	0	25,740,000	25,548,762	0	191,238	
(項) 差入保証金	0	0	1,292,000	0	1,292,000	1,291,200	0	800	
(項) 広報及び相談あっせん費	12,449,000	0	0	0	12,449,000	12,197,102	0	251,898	
(款) 移住センター費	40,979,000	0	1,073,000	90,000	42,142,000	41,861,500	0	280,500	
(項) 基本給	17,834,000	0	0	524,000	18,358,000	18,292,525	0	65,475	
(項) 諸手当	8,743,000	0	0	474,000	9,217,000	9,134,874	0	82,126	
(項) 福利費	1,173,000	0	166,000	△ 223,000	1,116,000	1,101,862	0	14,138	
(項) 退職金	349,000	0	170,000	52,000	571,000	569,400	0	1,600	
(項) 諸謝金	935,000	0	0	0	935,000	880,558	0	54,442	
(項) 内国旅費	318,000	0	0	0	318,000	317,140	0	860	
(項) 帰住旅費	56,000	0	0	0	56,000	0	0	56,000	
(項) 庁費	11,571,000	0	0	△ 737,000	10,834,000	10,830,141	0	3,859	
(項) 車輛運搬具購入費	0	0	737,000	0	737,000	735,000	0	2,000	
(款) 受入管理費	365,426,000	0	2,609,000	△13,881,000	354,154,000	340,991,287	157,495	13,005,218	
(項) 基本給	231,033,000	0	0	△24,596,000	206,437,000	199,794,424	0	6,642,576	
(項) 諸手当	14,711,000	0	0	△ 299,000	14,412,000	13,267,688	0	1,144,312	

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不用額	備 考
(傾) 福利費	13,707,000	0	0	0	13,707,000	8,079,435	0	5,627,565	
(傾) 退職金	2,124,000	0	0	11,014,000	13,138,000	12,357,424	0	780,576	
(傾) 諸謝金	12,592,000	0	0	0	12,592,000	11,630,998	0	961,002	
(傾) 旅費	22,397,000	0	0	0	22,397,000	22,565,167	0	△ 168,167	(注)参照
(傾) 庁費	67,587,000	0	2,479,000	0	70,066,000	72,017,873	157,495	△ 2,109,368	(注)参照
(傾) 職員研修費	1,275,000	0	0	0	1,275,000	1,127,442	0	147,558	
(傾) 什器備品費	0	0	130,000	0	130,000	150,836	0	△ 208,36	(注)参照
(傾) 受入事業費	180,681,000	76,307,258	2,444,000	0	259,432,258	229,116,783	15,559,953	14,755,522	
(傾) 調査費	7,533,000	0	60,000	0	7,593,000	7,847,535	0	△ 254,535	(注)参照
(傾) 訓練講習費	3,226,000	0	0	0	3,226,000	3,258,027	0	△ 32,027	(注)参照
(傾) 農場運営費	17,804,000	0	0	0	17,804,000	17,268,996	0	535,004	
(傾) 農場費	932,000	0	0	0	932,000	473,855	0	458,145	
(傾) 委託栽培費	1,765,000	0	0	0	1,765,000	1,698,075	0	66,925	
(傾) 農協助成費	5,360,000	0	0	0	5,360,000	5,552,285	0	△ 192,285	(注)参照
(傾) 医療衛生費	32,409,000	0	0	△1,288,000	31,121,000	29,395,821	1,500,000	225,179	
(傾) 医療費	4,776,000	0	1,284,000	0	6,060,000	5,774,308	0	285,692	
(傾) 教育費	20,634,000	0	0	1,288,000	21,922,000	19,481,447	82,340	2,358,213	
(傾) 車輛運搬具購入費	25,050,000	53,292,672	1,100,000	2,156,000	81,598,672	70,799,058	5,277,344	5,522,270	
(傾) 什器備品費	1,500,000	0	0	0	1,500,000	875,479	0	624,521	
(傾) 施設費	22,503,000	18,342,815	0	0	40,845,815	32,023,442	7,875,504	9,468,69	
(傾) 治安費	1,718,000	0	0	0	1,718,000	1,303,519	0	414,481	
(傾) 広報及び相談あっせん費	1,346,000	0	0	0	1,346,000	929,401	0	416,599	
(傾) 移住地管理費	2,865,000	0	0	0	2,065,000	2,002,430	0	62,570	

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不用額	備 考
(項) 道路補修費	20,998,000	0	0	△2,156,000	18,842,000	18,014,261	824,765	2,974	
(項) 技術移住センター費	11,062,000	4,671,771	0	0	15,733,771	12,418,844	0	3,314,927	
(款) 予備費									
(項) 予備費	4,120,000	0	△38,437,000	0	2,766,000	0	0	2,766,000	
(款) 支払利息									
(項) 長期借入金利息	26,000,000	0	0	0	26,000,000	26,000,000	0	0	
(款) 運用部借入金返済									
(項) 運用部借入金返済	200,000,000	0	0	0	200,000,000	200,000,000	0	0	
(款) 融資勘定へ繰入									
(項) 融資勘定へ繰入	22,319,000	0	0	0	22,319,000	△135,348,840	0	157,667,840	
(款) 旧勘定へ繰入									
(項) 旧勘定へ繰入	219,293,000	0	0	0	219,293,000	180,081,585	0	39,211,415	
(款) 差入保証金									
(項) 差入保証金	90,000,000	0	0	0	90,000,000	90,000,000	0	0	
(款) 次期繰越金									
(項) 次期繰越金	59,883,000	0	0	0	59,883,000	776,588,062	0	△176,705,262	
合 計	1,722,621,000	76,307,258	0	0	1,798,928,258	2,243,500,990	3,805,053	△48,237,785	

(注) (款)受入管理費・受入事業費のうち(項)旅費・庁費・調査費・訓練講習費・農協助成費等の支出決定済額が予算額を上廻っているのは伯国現地法人において各科目ごとの受入資金をもってその執行を行ったものであるが最終決算では各科目ごとの受入資金の平均為替レートを使用せずに交付金の総送金平均レートをもって全てを円換算した結果によるもので実質的には予算の範囲内での執行となっているものである。

(渡航費貸付勘定)

収 入

(単位：円)

款 項	予 算 額	収入決定済額	予算額と収入決定済額との差額	備 考
(款) 渡航費貸付資金借入 (項) 渡航費貸付資金借入	169,320,000	79,101,954	90,218,046	
(款) 渡航費貸付金回収収入 (項) 渡航費貸付金回収収入	191,809,000	1,999,995	189,809,005	
合 計	361,129,000	81,101,949	280,027,051	

支 出

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不用額	備 考
(款) 渡航費貸付金 (項) 渡航費貸付金	169,320,000	0	0	0	169,320,000	79,101,954	0	90,218,046	
(款) 渡航費貸付償還金返済 (項) 渡航費貸付償還金返済	191,809,000	0	0	0	191,809,000	1,999,995	0	189,809,005	
合 計	361,129,000	0	0	0	361,129,000	81,101,949	0	280,027,051	

(融 資 勘 定)

収 入

(単位：円)

款 項	予 算 額	収 入 決 定 済 額	予 算 額 と 収 入 決 定 済 額 と の 差 額	備 考
(款) 貸付金元本回収収入				
(項) 現地貸付金元本回収収入	107,746,000	111,294,090	△ 3,548,090	
(款) 貸付金利息収入				
(項) 現地貸付金利息収入	27,053,000	20,878,555	6,174,445	
(款) スワップ買戻し収入				
(項) スワップ買戻し収入	180,000,000	180,000,000	0	
(款) スワップ取組収入				
(項) スワップ取組収入	182,500,000	182,500,000	0	
(款) 289号取組収入				
(項) 289号取組収入	182,500,000	182,500,000	0	
(款) 強制預金返戻				
(項) 強制預金返戻	48,958,000	27,400,000	21,558,000	
(款) 預金利息				
(項) 預金利息	0	2,777,377	△ 2,777,377	
(款) 雑収入				
(項) 雑収入	0	4,405	△ 4,405	
(款) 一般勘定より繰入				
(項) 一般勘定より繰入	22,319,000	△ 135,348,840	△ 157,667,840	
合 計	751,076,000	572,005,587	179,070,413	

支 出

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不要額	備考
(款) 貸 付 金	271,500,000	0	0	0	271,500,000	245,519,550	0	25,980,450	
(項) 渡航前貸付金	3,500,000	0	0	0	3,500,000	2,500,000	0	1,000,000	
(項) 現地貸付金	268,000,000	0	0	0	268,000,000	243,019,550	0	24,980,450	
(項) 予 備 金	0	0	0	0	0	0	0	0	
(款) スワップ買戻金								0	
(項) スワップ買戻金	70,000,000	0	0	0	70,000,000	70,000,000	0	0	
(款) スワップ取組金	144,000,000	0	0	0	144,000,000	144,000,000	0	0	
(項) スワップ取組金	70,000,000	0	0	0	70,000,000	70,000,000	0	0	
(項) スワップ預託金	74,000,000	0	0	0	74,000,000	74,000,000	0	0	
(款) 支 払 利 息							0		
(項) スワップ利息	9,125,000	0	0	0	9,125,000	8,201,877	0	923,123	
(款) 管 理 費	6,799,000	0	0	0	6,799,000	6,062,028	0	736,972	
(項) 支払手数料	6,701,000	0	0	0	6,701,000	6,013,818	0	687,182	
(項) 利子配当所得税	98,000	0	0	0	98,000	48,210	0	49,790	
(款) 強 制 預 金	179,652,000	0	0	0	179,652,000	27,400,000	144,000,000	8,252,000	
(項) 強 制 預 金	35,652,000	0	0	0	35,652,000	27,400,000	0	8,252,000	
(項) 増 資 供 託 金	144,000,000	0	0	0	144,000,000	0	144,000,000	0	
(款) 支 払 雑 利 息									
(項) 支払雑利息	0	1,404,773	0	0	1,404,773	822,132	0	582,641	
(款) 289号取組金									
(項) 289号取組金	70,000,000	0	0	0	70,000,000	70,000,000	0	0	
合 計	751,076,000	1,404,773	0	0	752,480,773	572,005,587	144,000,000	36,475,186	

(旧 勘 定)

収 入

(単 位 : 円)

款 項	予 算 額	収 入 決 定 済 額	予 算 額 と 収 入 決 定 済 額 と の 差 額	備 考
(款) 入 植 地 売 上 収 入				
(項) 入 植 地 売 上 収 入	15,533,000	16,401,687	△ 868,687	
(款) 移 住 地 雑 収 入				
(項) 移 住 地 雑 収 入	10,733,000	13,882,131	△ 3,149,131	
(款) ガ タ バ ラ 事 業 収 入	61,891,000	53,164,080	8,726,920	
(項) ガ タ バ ラ 事 業 収 入	12,136,000	3,409,080	8,726,920	
(項) 一 般 勘 定 よ り 繰 入	49,755,000	49,755,000	0	
(款) ガ タ バ ラ 事 業 貸 付 金 回 収 収 入				
(項) ガ タ バ ラ 事 業 貸 付 金 回 収 収 入	0	0	0	
(款) 貸 付 金 元 本 回 収 収 入	43,226,000	38,196,520	5,029,480	
(項) 渡 航 前 貸 付 金 元 本 回 収 収 入	3,063,000	3,352,712	△ 289,712	
(項) 現 地 貸 付 金 元 本 回 収 収 入	36,923,000	31,713,395	5,209,605	
(項) 農 工 企 業 貸 付 金 元 本 回 収 収 入	3,240,000	3,130,413	109,587	
(款) 貸 付 金 利 息 収 入	19,930,000	21,072,100	△ 1,142,100	
(項) 渡 航 前 貸 付 金 利 息 収 入	1,483,000	1,586,781	△ 103,781	
(項) 現 地 貸 付 金 利 息 収 入	9,328,000	7,134,226	2,193,774	
(項) 農 工 企 業 貸 付 金 利 息 収 入	9,119,000	12,351,093	3,232,093	
(款) ス ワ ッ プ 買 戻 し 収 入				
(項) ス ワ ッ プ 買 戻 し 収 入	180,000,000	180,000,000	0	
(款) 直 営 事 業 収 入	23,873,000	16,472,755	7,400,245	
(項) 倉 庫 収 入	1,655,000	973,365	681,635	
(項) 牧 場 収 入	22,218,000	15,499,390	6,718,610	

(単位：円)

款 項	予 算 額	収入決定済額	予算額と収入決定済額との差額	備 考
(款) 受 入 雑 利 息				
(項) 受 入 雑 利 息	25,325,000	27,624,204	△ 2,299,204	
(款) 雑 収 入				
(項) 雑 収 入	2,150,000	2,502,238	352,238	
(款) 強 制 預 金 返 戻				
(項) 強 制 預 金 返 戻	6,552,000	6,000,000	552,000	
(款) 一 般 勘 定 よ り 繰 入				
(項) 一 般 勘 定 よ り 繰 入	16,953,800	130,327,585	39,211,415	
合 計	558,751,000	505,642,300	53,108,700	

支 出

(単位：円)

款 項	支出予算額	前事業年度からの繰越額	予備費の使用の金額	流用の金額	支出予算現額	支出決定済額	翌事業年度への繰越額	不用額	備 考
(款) 造成工事支出金	93,315,000	5,688,229	0	0	99,003,229	54,770,025	38,228,242	6,004,962	
(傾) 公 租 公 課	3,092,000	0	0	0	3,092,000	2,929,409	0	162,591	
(傾) 造成工事支出金	90,223,000	5,688,229	0	0	95,911,229	51,840,616	38,228,242	5,842,371	
(款) ガタバラ事業支出			0						
(傾) ガタバラ事業支出	61,891,000	31,528,478	0	0	93,419,478	54,908,178	27,582,944	10,928,356	
(款) 直 営 事 業 支 出	20,079,000	178,618	0	0	20,257,618	14,471,159	3,755,309	2,031,150	
(傾) 倉 庫 費 用	743,000	178,618	0	0	921,618	69,6960	0	224,658	
(傾) 牧 場 費 用	19,336,000	0	0	0	19,336,000	13,774,199	3,755,309	1,806,492	
(款) スワ ッ プ 買 戻 金									
(傾) スワ ッ プ 買 戻 金	9,200,000	0	0	0	9,200,000	9,200,000	0	0	
(款) 長 期 借 入 金 返 済									
(傾) 長 期 借 入 金 返 済	362,600,000	0	0	0	362,600,000	362,600,000	0	0	
(款) 支 払 利 息	7,039,000	0	0	△ 517,000	6,522,000	4,549,937	0	1,972,063	
(傾) 長 期 借 入 金 利 息	6,947,000	0	0	△ 517,000	6,430,000	4,465,509	0	1,964,491	
(傾) スワ ッ プ 利 息	92,000	0	0	0	92,000	84,428	0	7,572	
(款) 管 理 費	4,627,000	0	0	517,000	5,144,000	5,143,001	0	999	
(傾) 利子配当所得税	3,012,000	0	0	517,000	3,529,000	3,528,998	0	2	
(傾) ラプラタ組合債権保全立替金	1,615,000	0	0	0	1,615,000	1,614,003	0	997	
合 計	558,751,000	37,395,325	0	0	596,146,325	505,642,300	69,566,495	20,937,530	

業 務 報 告 書

1. 事 業 實 績

2. 資 金 収 支 實 績

1. 事業実績

油桐
借 4000
積 3,857,180^円

1. 海外移住に関する調査及び知識の普及を行なう業務

(1) 海外移住に関する調査

ア 移住者の動態調査及び移住統計の作成

(イ) 移住者名簿の作成

昭和 39 年度において戦後の移住者の実態を把握するため、移住者の住所、現職等を調査したうえ渡航年次順移住者名簿を作成したが、昭和 40 年度はこの調査結果にもとづき

- 1) 現住所別移住者名簿
- 2) 出身県別移住者名簿

を作成した。

(ロ) 海外移住統計の作成

移住者の構成、推移等を把握し、今後の移住政策、啓発対策の参考に資するため海外移住統計を次のとおり作成した。

- a 統計作成作業期間 昭和 40 年 10 月～昭和 41 年 3 月
- b 対象人員 55,262 名 (昭和 27 年から 38 年 12 月上旬船までの移住者)
- c 統計要素 年令、続柄、性、取扱県、移住先国、現住所、学歴、携行資金、家族員数等
- d 統計の種類 県別、携行資金別、移住先国別、形態別、学歴別等 28 種

① 雇用農実態調査の実施

南伯雇用農業移住者の営農及び定着状況を把握し、今後の移住者指導並びに援護対策の資料とするための調査を実施どおり実施した。

- a 調査期間 昭和 40 年 10 月～12 月
- b 調査員 サンパウロ支部職員
- c 調査地域 ブラジル国パラナ州
- d 調査対象 パラナ州内の戦後移住者 (主として雇用農) 約 700 件
- e 調査方法 戸別訪問等

3/2
 ① 土地収入 死亡
 ② 土地収入の増加地代 (移住用)
 概 2,442,000^円
 支 2,332,300^円 (1 年の違いで若干異なるものと見られる)
 (40年度)
 概 1,000,000^円 (39年度)
 近郊土地購入不可
 (完全不可)
 41年 - Mal Grasso 予定
 02年 - Santa Catarina Rio Grasso

ウ 農家経済調査の実施

自営農業移住者の実態を定期的・継続的に調査・集計・分析し、その現状を把握するとともに今後の営農計画・営農指導および啓発の資料とするため、従来から移住地農家経済調査を実施してきたが、40 年度においては次の調査を行なうと共に、39 年度に実施した 48 移住地 1,229 戸の調査結果を集計分析した。

- a 調査期間 昭和40年10月～昭和41年3月
- b 調査員 各支部職員
- c 調査地域・戸数 48 移住地 1,300 戸

編集?

エ. ブラジル農業技術研究会補助

ブラジル農業技術の開発普及により移住者の農業技術水準をたかめるため、ブラジル農業技術研究会が編集する「ブラジル農業総覧」の経費の一部を補助した。

オ. 北中伯移住地の実態調査の実施

ブラジル国側経営にかかる移住地の現状を的確に把握し、今後の援護対策樹立のための基礎資料を得るため、北中伯移住地の実態調査を次のとおり実施した。

- a. 調査期間 昭和40年6月～9月
- b. 調査員 外務省 広瀬事務官
農林省 吉川技官
海外移住事業団 今村職員
- c. 調査地域 北中伯 18 移住地
- d. 調査方法 実地調査等

9.13(9) 8(6)
ヒン、ポイ、S.J.
通研系ハ、ニ地入地系 農業改良
支社。

1.217,460円

肥培管理 ヒン 10kg ✓
油ヤ 10kg ✓
マニ 10kg ✓
気象観測
実地調査技術記帳 ✓

41年お預り、水

支出 11,485,715 / 2,012 円

(2) ブラジル国 BR 14 国道入植候補地の適地調査

ブラジル国 BR 14 国道沿線に入植した実験農家 10 戸に対し、前年度に引続き作物栽培試験及び気象観測等を依頼することにより適地調査を実施した。

(3) 海外移住に関する知識の普及を行なう業務

国民の海外移住に関する理解を深め、且つ国際的視野を高めることにより海外移住事業を一層発展させるため、次の事業を実施した。

ア. 印刷物の発行及び配付

a. 機関紙「海外移住」の発行

発行回数 12 回 (月1回) 発行部数 25,000 部 (1回当たり)

配布先

配布先	配布部数	配布先	配布部数
地方事務所・センター	5,500	在外関係	200
関係官庁	500	報道関係	100
農業団体	4,000	希望者	2,900
学校関係	3,000	その他	300
市町村関係	7,500	合計	24,000

b. 機関紙「海外移住速報」の発行

発行回数 17 回 発行部数 320 部

配布先

配布先	配布部数	配布先	配布部数
関係官庁	40	本部関係	26
関係団体	40	その他	22
在外関係	43		
地方事務所・センター	97	合計	268

c. 単行本の発刊

区分	発刊部数
青年の国ブラジル	3,000

d. 冊子の作成

区分	発行部数	区分	発行部数
カナダ移住案内改訂版	5,000	カナダの企業案内	3,000
カナダ国の概要と日系人	5,000	カナダ移住相談の手引	200
カナダにおける生活と労働	3,000	アンデス移住地入植の手引	300
海外移住懸賞論文優秀作入選作品集	1,500	イグアス入植の手引	10,000
カナダにおける自営業の手引	3,000		

e. その他

上記機関紙・単行本・ポスターのほか、イグアス移住地および第二トメアス移住地を紹介するためのちらしやポスター等、延約 150,000 部を発行し、啓発運動に役立てた。

イ. 展示会、講演会、相談会の実施

都道府県の各所において、事業団地方事務所単独又は都道府県及び関係団体との共催により延 2,195 会場で開催した。

ウ. 青少年移住思想高揚の実施

青少年の海外移住思想の高揚を図るため、青少年の指導者である高校教師及び学生移住連盟の学生を次のとおり海外に派遣した。

① 高校教師の海外派遣

- a. 派遣期間 40年7月26日～8月23日
- b. 派遣教師 上山農業高校 枝松校長
伊万里農業高校 渡口教諭
- c. 派遣地域 南北米各地

② 学生移住連盟の学生の海外派遣

- a. 派遣期間 40年6月～41年3月
- b. 派遣学生 日下野良武(熊商大商学科) 吉川俊介(神戸外大スペイン語科)
- c. 派遣地域 ブラジル(日下野) アルゼンチン(吉川)

エ. 移住指定高校に対する資料配布

移住指定高校851校に対し、海外移住等の資料を配布し研究活動の資に供した。

オ. 懸賞論文の募集

青少年の海外移住の知識を深めるため、全国の中学・高校生から海外事情に関する懸賞論文を募集し、応募数321通のうちから入選者として20名を選び、内10名を神戸～横浜間の移住船に招待したのち本部で表彰した。

カ. 放送機関の利用

a. テレビ放送

ドキュメンタリー「ラテン・アメリカに生きる」を5月から6月にかけて7回にわたり長崎NBC局を利用して放送したほか、各地で海外移住に関するテレビ放送を行ない啓発に努めた。

b. ラジオ放送

「海外移住スポット」を5月に15回にわたり宮崎MRT局を利用して放送した。

キ. 移住週間等の実施

国民の海外移住に対する認識を深め、海外移住思想を高揚するため海外移住旬間を設け、各種事業を実施した。

実施期間 40年5月20日～29日

対象地域 38都道府県(残り8県は9月～11月の間に各々実施した。)

実施内容 講演会，展示会，映画会，弁論大会，移住相談，その他

ク．全国海外教育推進高校教師研究会等の実施

海外教育推進高校における研究活動を助成するとともに指導教師の研究を育成するため，全国海外教育推進高校教師研究会（10月29日～11月2日）及び各都道府県別研究会をそれぞれ実施した。

2. 海外移住に関し相談に応じ及びあっせんを行なう業務

昭和40年度に実施した相談及びあっせん業務は次のとおりである。

ア 一般移住相談

本年度の海外移住相談件数は次のとおりである。

- a. 文書によるもの 1925 件
- b. 来訪によるもの(本部及び地方事務所) 7377 件
- c. 電話によるもの 2825 件

イ. 技術移住相談及びあっせん

a. 技術移住相談業務

技術移住推進月間を9月に設定して全国的に啓発運動を実施したほか、技術移住あっせん打合せ及び説明会を各地方事務所において開催した。

b. 技術移住あっせん業務

技術者246名(前年度繰越分70名を含む)について技術移住のあっせんを行ない、このうち119名のあっせんが成立した。なお118技術者についてはあっせん継続中である。(なお、9名の技術者についてはあっせんを中止した。)

c. 求人開拓状況

ブラジル現地企業7社105技術者及びアルゼンチン現地企業1社5技術者計8社108技術者の求人を受理した。

ウ. 昭和40年度送出実績

国 別	家族	人数	単身	計
ブラジル	52	182	349	531
アルゼンチン	16	55	92	147
パラグアイ	25	118	3	121
ウルグアイ	1	3	2	5
チリ	1	4	0	4
メキシコ	1	3	0	3
ドミニカ	0	0	1	1
ボリビア	1	6	0	6
合 計	97	371	447	818

職 業 別	家族	人数	単身	計	備 考
農 業	63	262	188	450	このほか採用が確定し渡航待機中の技術者は36名、同伴26名計62名いる。
技 術	21	65	111	176	
そ の 他	13	44	148	192	
合 計	97	371	447	818	

エ. 移住相談員の設置

都道府県事務所の移住相談業務を補完するため適格者 119 名を選考の上移住相談員に任命した。

3. 移住者に対して訓練及び講習並びに渡航費の貸付け及び支度金等の支給を行なう業務

(1) 移住者に対する渡航前の訓練及び講習

ア. 海外移住研修所における訓練の実施

海外移住研修所における研修実績は次のとおりである。

- a. 研修期間 40年5月～10月
- b. 研修人員 14名(うち、ブラジル移住者8名、アルゼンチン移住者1名、移住予定者2名及び移住中止者3名)
- c. 研修内容 一般教養、語学、専門科目、実習、その他

イ. 技術移住者講習会の実施

技術移住者に対し、現地工業界への適応力を高めるため移住先の事情、語学を主とした講習会を次のとおり実施した。

	期 間	人 員	場 所
第1回	40年4月19日～4月24日	18名	秦野職業訓練所
第2回	6月7日～6月12日	9	横浜移住センター
第3回	8月26日～8月31日	10	"
第4回	10月18日～10月23日	13	"
第5回	11月29日～12月4日	19	秦野職業訓練所
第6回	41年1月10日～1月15日	17	横浜移住センター
第7回	3月14日～3月19日	11	"

ウ. 農業移住者講習会の実施

農業移住者に対し移住後の現地社会への適応力を高めるため、移住先の事情、語学及び実習を主とした講習会を次のとおり実施した。

a. 中央講習会

	期 間	人 員	対 象 者	場 所
第1回	40年4月12日～5月1日	25名	コチア青年	茨城県農林省研修室
第2回	5月10日～5月29日	17	"	"
第3回	7月20日～8月14日	18	"	"
第4回	9月2日～9月15日	14	アルゼンチン花卉青年	三重県農業経営研修所

	期 間	人 員	対 象 者	場 所
第5回	40年10月7日～11月5日	19名	コチア青年	茨城県農林省研修室
第6回	41年1月10日～2月1日	12	"	"
第7回	1月17日～1月29日	13	アルゼンチン花 青年	三重県農業経営研修所

b. ブロック講習会

	期 間	人 員	対 象 者	場 所
第1回	40年5月7日～5月14日	24名	花嫁移住者	横浜移住センター
第2回	10月9日～10月15日	16	"	海外移住婦人ホーム

(2) 移住者に対する海外における講習 *訓練講習会 予算 3,226千円 実績 3,258,027千円*

ア. アスンシオン支部

支出 147,631 / 予算 425千円
イグアス農場内における41年2月6日から3月20日まで45日間営農上の諸問題を解決するための農業講習会を実施した。講習対象者は中学校卒業程度の学力を有する20才から30才までの男子15名であり、主として農場関係職員が講師となって講習を実施した外、ガルアッペ国立試験場、アスンシオン農科大学、メジャメーラ養豚地域(ブラジル国パラナ州)ピライ製紙工場(アルゼンチン国ミッシオネス州)等を視察した。

イ. サンタクルス支部

支出 8,241 / 予算 345千円
40年度においては2回(第1回40年12月～41年1月, 第2回41年2月～3月)にわたり、各2名の移住者をトードスサントス開発公社種畜場に派遣し、専門家を講師として養豚養牛に関する講義及び実習を行なったほか、養豚、養鶏等の事業に関心をもつ移住者約25名を対象として講習会や見学会を実施した。

ウ. ブエノスアイレス支部

支出 716,707 / 予算 359千円
ガルアペー移住地の青年約40名を対象とし、ガルアペー指導農場において40年9月から41年3月までの毎土・日曜日、学校教師や農業専門家を講師に招き、スペイン語、農業を中心とした講習会を実施した。

ブエノスアイレス近郊の花弁・そ菜青年移住者約40名を対象として、ブエノスアイレスにおいて支部職員花卉専門家を講師に招き、3回に亘り花卉そ菜等についての講習会を行なった。このほかアンデス移住地においても営農関係の講習会を実施している。

エ. ブラジル国

a. ベレン支部

支出 4,002,000 / 予算 703千円
ベレン支部管内入植地入植者のうち21名の青年を対象とし、41年3月7日から13日までの1週間北伯農畜産研究所(IPEAN)で同研究所研究員等を講師としてゴム、胡椒等の栽培、家畜、飼養等についての農事講習会を実施した。

カ. リンパロ支部

支出 3,184,400 / 予算 693千円
約850人 9月3日 17日
作物栽培法、畜産、密家栽培 etc

レニ-72

アリ近郊R1Lトマス-花民地におい

11/22 ~ 27 4名
3/21 ~ 28 1名

計5名 ヒメツ栽培の講習会

支出

1,840,135 / 薪 323,410

b. ボルト・アレグレ支部

40年度にはボルト・アレグレ支部管内 10 会場において延 250 名の移住者に対し、支部職員等を講師として果樹栽培技術等についての講習会を実施した。

なお、その他の支部でも随時営農講習会を実施している。

支出 2,131,720 / 薪 323,410

支出 4,102,000 / 薪 703,410

(3) 渡航費の貸付業務

ア. 40 年度中の一般渡航費貸付実績は 547 件 (818 名) 79,101,954 円であり、 27 年度貸付開始以来の累計は 17,985 件 (57,910 名) 5,450,399,256 円に達した。

イ. 40 年度までに期限の到来した 1590 件 189,133,304 円に対する回収実績は 294,094 円で回収率は 0.155% にすぎない。

ウ. 米国難民救災法に基づく移住者に対する貸付金のうち 40 年度中の回収実績は 428,251 円であり、従来の貸付実績累計 170 件 (392 名) 32,056,266 円に対し、貸付開始以来の総合回収率は 92.5% である。

(4) 支度金等の交付業務

海外移住の促進を図るため、移住者に対し移住者支度費補助金を次のとおり交付した。

区 分	大 人	中 人	小 人	計
単 価	7,000 円	3,500 円	1,750 円	
補 助 対 象	725 人	78 人	15 人	818 人
支 度 費	5,075,000 円	273,000 円	26,250 円	5,374,250 円
集 結 旅 費				250,604 円
計				5,624,854 円

4. 移住者の渡航に関し宿舎施設の提供，引率その他援助及び指導を行なう業務

(1) 移住者の渡航前宿泊施設の提供及び援助

移住者の渡航前宿泊施設として神戸・横浜両移住センターを使用し，移住者入所中は種々の指導あっせん業務を行なわしめた。

(2) 移住者輸送引率者

移住業務に精通している者のうちから，次の者を移住者輸送引率者に任命して，船中における移住者の援護，指導にあたらせた。

出 帆	船 名	氏 名	出 帆	船 名	氏 名
40年4月上旬	あふりか丸	菅原岩手県事務所長	9月中旬	テゲルベルグ号	主代群馬県事務所職員
4月中旬	テゲルベルグ号	柴田鳥取県事務所長心得	10月中旬	ス イ ス	谷本香川県事務所長
5月上旬	あるぜんちな丸	斎藤兵庫県事務所長	11月上旬	あるぜんちな丸	武田サントクルス支部職員
5月中旬	ル イ ス 号	山崎全拓連職員	11月中旬	チチャレンカ号	石橋アスンション支部職員
6月上旬	さくら丸	前山指導課員	12月下旬	ぶらじる丸	乗安富山県事務所長
6月中旬	チチャレンカ号	米沢啓発課員	41年1月中旬	ボイスベン号	三日月福岡県事務所長
7月上旬	さんとす丸	小川広島県事務所長	2月中旬	テゲルベルグ号	白井山口県事務所長
8月中旬	ボイスベン号	河合岐阜県事務所長	3月上旬	あるぜんちな丸	萩原国農連会長
9月上旬	ぶらじる丸	国吉サンパウロ支部職員	"	"	阿相山形県事務所長

(3) 技術移住センターの設置

前年度に建設に着手した技術移住センターは本館，宿舎及び食堂が完成し2月26日開所式を行なった後，移住者に対して研修会を次のとおり実施した。

- a. 研 修 期 間 41年3月5日から27日までの毎土・日曜日（8日間）
- b. 出 席 者 技術移住者 43名
- c. 研 修 内 容 企業経営に関する事項

⑤ 海外において、移住者の事業、職業、その他移住者の生活一般について相談に応じ及び指導を行なう業務

(1) 農業移住者に対する相談及び指導

ア. 営農相談及び指導を行うために必要な農場の運営

集団移住地における営農指導を効果的に行なうこと及び移住者の営農改善に必要と思われる作物について、栽培の実験、展示並びに種苗の増殖等を行なうことなどを目的とし、下記の5農場を前年に引続き運営した。

管轄支部	農 場	面 積	40年度の主な試験研究事項
アスンシオン支部	① アルトパラナ農場	100ha	1. 柑橘, ラミー, ケナフ, 雑穀, 棉の品種比較試験。 2. ラミー, ケナフ, 大豆等の優良品種種子の配布 3. 油桐優良品種展示
"	イグアス農場	107	1. 特用作物の虫害防除対策 2. 柑橘, 茶, 薄荷の品種比較試験 3. 香料, 作物生育調査と生産力検定
ブエノスアイレス支部	ガルアペー農場	44	1. 牧草生育調査及び採種 2. 薄荷, ケナフ, 棉, 煙草等の品種比較試験 3. 土壌流亡試験
サンタクルス支部	サンファン農場	100	1. ゴマ, 陸稻, バナナ, バイン等品種比較試験 2. 陸稻栽培の機械化試験 3. ジュート, ケナフ等の生産力検定
ベレン支部	モンテアレグレ農場	230	1. ゴム, デンデ椰子, ココ椰子, 印度蛇木, 牧草等の品種間生産力検定 2. ゴム, 椰子, 牧草等の優良品種種苗の配布

なお、アスンシオン支部フラム農場は本年度より閉鎖し、従来行ってきた業務をアルトパラナ農場に統合したほか、イグアス移住地における営農に畜産を導入することを目的とし、41年度より同移住地内に畜産センターを設置すべく準備した。また、ベレン支部モンテアレグレ農場は本年度限りで閉鎖し、明年度より第2トメアス移住地内に設置する試験農場に統合する計画を進めた。

イ 委託栽培

ブラジル国では広大な地域に移住者が散在しているため、その営農相談および指導にあたり、農作物栽培上の地域的特殊条件を解決する必要があるため、適作物の栽培試験を移住者又はその団体に委託して実施した。その主なものは次のとおりである。

a. ベレン支部

- (a) ライチの栽培試験 ロザリオ、マタピー、カンボ、ベルデ等の各移住地で実施
- (b) マンゴスチンの栽培試験 第2トメアス、アカラ、ベラピスタ等の各移住地で実施
- (c) ピメンタの栽培試験 ロザリオ、モンテ・アレグレ等の各移住地で実施

b. ポルト・アレグレ支部

- (a) 果樹の品種比較栽培 クリチバーノス地区ラーモス組合に委託
- (b) 水稲の施肥試験 クリシューマ地区サンジョゼ農産組合に委託
- (c) スペインメロンの栽培試験 トーレス地区で実施

c. サンパウロ支部

パラナ州降霜地帯でカフェー以外の永年適作物を発見育成のため、同州マウナ市近郊富士地区において、次の栽培試験を昨年に引続き実施した。

- (a) 桃及びブドウの栽培適地調査及び品種比較試験
- (b) オリーブ栽培適地試験

ウ. 営農指導等の実施

移住者の定着及び営農並びに生活改善等現地における諸問題解決を図るための相談並びに指導を行なうことを目的とした講習会を実施するとともに、移住者の求めに応じ、関係職員が個別に相談及び指導にあたった。

(2) 農業以外の移住者に対する相談及び指導

技術移住者、その他農業関係以外の移住者の定着、生活の安定等を図るため、各支部職員が相談に応じ指導にあたった。

(3) 生活一般の相談及び指導

移住者の受入地の生活への適応及び生活水準の向上を図るため、各種講習会懇談会等が催された際に、併せて生活環境の改善その他生活一般についての相談及び指導を行なった。

41~44回年 4. 電化

⑥ 海外において移住者の定着のため必要な福祉施設の整備その他の援助を行なう業務

医師と看護婦
の入れ替え

(1) 医療衛生に関する業務

ア. 診療施設の整備及び運営

直営医療施設として次の診療所を引続き運営し、移住者及び現地人の医療にあたった。

診療所	管轄支部	施設内容	医師・看護婦	診療状況(1日平均受診人員)
フラム診療所 平均 2,680人	アスンシオン支部	木造平家建 165m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(産婦人科) 1名 看護婦 3名	受診 6人/日 入院 2人/日
アルトバラナ診療所 平均 5,977人	"	レンガ造平家建 135m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(産婦人科) 1名 看護婦 5名	受診 16人/日 入院 4人/日
イグアス診療所 平均 709人	"	木造平家建 93m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(産婦人科) 1名 看護婦 2名	受診 14人/日 入院 0.5人/日
サンファン診療所 平均 8,195人/日	サンタクルス支部	レンガ造平家建 190m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(内科) 1名 " (外科) 1名 助手 1名 看護婦 4名	受診 14人/日 入院 2人/日
ガルアベー診療所 平均 395人	ブエノスアイレス支部	レンガ造平家建 80m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(内科) (1名) 看護婦 2名	受診 2人/日 入院 0.5人/日
ベレン診療所 ?	ベレン支部	日伯会館借用 280m ² 診療, 手術, 病室完備	医師(全科) 1名 看護婦 2名	受診 2人/日 入院 0.5人/日

収入	支出	左中. 収支
現	(14)	
4,894,543	5,248,482	678,467
	(74,265,000)	
130,852	395,318	264,466
	(74,712,000)	
74	(26)	
578,169	109,787	
	(74,109,000)	

イ. 巡回診療の実施

ベレン, サンパウロ, ポルトアレグレ支部管内に散在する移住者に対し, その保健衛生対策として日本移民援護協会を通じ, 25回の巡回診療を実施し移住者 2,649人を診療した。
(福貴御堂 巧仁)

実績報告書 別刷

ウ. 特約医の委嘱

入植数が少なく直営診療所を設置するに至らない移住地では, 移住者の診療に特別の便宜供与を依頼するため, 近傍都市の開業医を特約医に委嘱しており, その

合計	9,509,587
(74)	(6,086,000)

状況は次のとおりである。

区 分	病 院	全 科 医	内 科 医	外 科 医	産婦人科医	予算(円)	実績(円)	人
ベレン支部管内	院	名	5名	1名	2名	510,000	510,000	6人
リオ支部管内			1			}	?	
サンパウロ支部管内	1	1	8	2				
ポルトアレグレ支部管内	1		1					
アスンシオン支部管内			2	1				
ブエノスアイレス支部管内			2	1				
計	2	1	19	5	2			

エ. マラリヤの予対策

伯法人ベレン支部管内において伯国CEMが実施するマラリヤ対策に協調し、アマゾン川流域入植地におけるマラリヤ撲滅対策を今年度も引続き実施した。

オ. 研修医の内地受

38年度に伯より研修医として受入れた片山, 伊藤, 両医師が40年9月研修を終えて帰国したが, 引続き肥田, 赤嶺両医師を伯国より受入れ, 東京大学医学部及び慶応義塾大学医学部において研修させた。

(予算) 1,841,000円 (実績) ~~1,841,000~~ (? - 1トク達い子達) かもこれない。

予算 2,910,000円
支出 1,952,121円 (9月03月)

(2) 教育に関する業務

ア. 教師謝金の支給

奥地移住者の子弟の充実を図り, かつ, 入植初期の移住者の経済的負担を軽減するため, 各移住地の小中学校教師に対する謝金の支給を前年度に引続き実施したがその内訳は次のとおりである。

部	教 師 数	実数
ベレン支部	18人	16人
レンフェ支部	11	11人
リオ支部	1	2人
サンパウロ支部	2	3人
ポルトアレグレ支部	1	1人

33

支 部	教 師 数
アスンシオン支部	34 人
ブエノスアイレス支部	5
サンタクルス支部	25
計	98

実技

6人

30人

イ. 育成助成金の支給

移住者の子弟に対し、交通費、寄宿費、月謝の一部を育英助成金として次のとおり支給した。

支 部	交通費	寄宿舎	月 謝
ベレン支部	42人	134人	63人
レシーフェ支部	15	14	50
リオ支部	10	0	7
サンパブロ支部	0	5	5
ポルトアレグレ支部	33	2	30
サンタクルス支部	0	3	3
アスンシオン支部	0	9	49
ブエノスアイレス支部	0	8	4
サントドミンゴ支部	0	9	9
計	100	184	220

予
実

年
支
出
額

732,000

328,000

948,000

384,000

396,000

180,056

919,773

?

324,256

192人

90人

28人

80人

86人

10人

58人

7人

29人

ウ. 教育施設の整備

本年度新たに設置した教育施設は次のとおりである。

a. アスンシオン支部

39 年度繰越工事分

教員宿舎 3棟(アルトパラナ) \$ 798,018.97

ハ国負担	4,350	1,500,000	契約日	1965.9.11
平素国負担	13,944	4,500,000	契約日	Hermann Baumann
計	18,294	6,000,000	契約日	1966.2.26

40 年度工事分
 中学校(付, 寄宿舍) 1校(フラム) (但し 41 年度へ繰越) 支額 2,630,570; 繰越額 2,104,000
 計 4,734,570
 予算 13,944 千円
 1966.7.28迄 内 11,711,000 (1965.12.31迄) = 60%
 (1966.1.1迄) 5,000,000 (1965.12.31迄) 4%

b. サンタクルス支部

40 年度工事分
 小学校 2校(サンファン) 支額 88,590; 予算 3,360 千円

c. ブエノスアイレス支部

40 年度工事分
 小学校 1校(ガルアペー) (但し 41 年度へ繰越) 支額 293,030; 繰越額 298,160.95
 計 591,190.95 (繰越金) 予算 2,430 千円

d. サンパウロ支部

39 年度繰越工事分
 小学校 1校(ガタバラ)
 教員宿舎 1棟(ガタバラ)
 1,506,552.95
 フラミル JAMIC は固定資産明細 繕で不明。

e. ポルトアレグレ支部

40 年度工事分
 教員宿舎 1棟(ラーモス) 支額 4,447,998; 予算 990 千円

f. ベレン支部

39 年度繰越工事分
 教員宿舎 1棟(第2トメアス)
 " 1棟(エフゼエニオサレス) 支額 3,744,670; 予算 743 千円

エ. 学校設備, 教材等の整備

各移住地にある学校の最低必要備品の整備を図るとともに, 図書, 図鑑等書籍類を順次充実することとし, 本年度は特に不備な学校について着手した。

(5) サンファン移住地の再建基本対策

サンファン移住地の営農不振等による行詰りを打開するため, サンファン調査団(指導課長及び貸付課長の2名を4月22日より約2カ月間, 本部より派遣し実地

支額 2,200,496 千円

39年度より繰越した土木機械

トラクタ	2台	41.3	単価 870,958.00
コンクリートポンプ	2台	40.10	単価 178,451.-
コンクリートポンプ	1台	40.12	単価 12,826.-
トラクタ	2台	40.10	単価 37,866.53

調査及び再建計画の樹立に当らせた。)の意見に基づき道路整備、営農改善、農業協同組合の指導等諸対策を立案し、本年度より6ヶ年計画で同対策を実施した。
その主な対策は次のとおりである。

ア. 道路等整備の実施

サンファン移住地の近傍を走る幹線道路から同移住地に至る道路をはじめとし、同移住地内外の道路約122kmの道路整備、補修並びに排水路の布設を43年度2年採計に当初計画は45年度まで迄に完遂する計画となっているが、40年度は上記工事を遂行するに要する諸準備をととのえるとともに、道路工事の一部を実施し当初計画通り完了した。
なお南部パラガイの豪雨禍による道路、橋梁等の破損箇所は入植者の出役を得て応急修理を行なった。

予算額 20,998,000円
 実施済額 18,892,000円
 支出額 (18,014,261円) 繰越額 824,265円 未用額 2,974円 又々々

イ. 営農改善の推進

サンファン移住地の行詰りが主として営農不振に起因するものであったので、サンファン農場の試験研究を基礎として営農の合理化を図ったり、フルトナー、トラクター等営農改善用機械を整備したりなどして、入植者の営農を側面から援助している。

39年度繰越した7-11台 (40.12) 入手 単価 653,814.17
 40.年度 トラクター 1台 予算 487,300円
 契約額 4,865,110円 (単価 160,920.-) 繰越 132,896

ウ. サンファン農業協同組合の指導強化

サンファン移住地の営農不振等により経営難におちいったサンファン農業協同組合の立直しを図るべく支部職員3名を同農業協同組合に出向せしめ、組合の経理指導、その他運営一般を指導した。

(4) 農業協同組合の助成

農業協同組合の育成を図るため、営農指導、生活指導等の事務費の一部を次のとおり補助した。

アスンシオン支部	8	組合
サンタクルス支部	1	
ブエノスアイレス支部	2	
サントドミンゴ支部	1	
ベレン支部	11	
レシーフェ支部	3	
サンパウロ支部	3	
計	29	

予算 5,360,000円
 支出 5,552,285円

(5) 奥地移住地の生活環境改善

ア. 日本映画の配布

文化的に恵まれない奥地移住者の慰安に供するため、日本映画「赤穂浪士」及び「太閤記」各6本を購入し、海外各支部に配布した。

(a) 70,000円 x 6本 x 12種 = 840,000円
 送料 57,416,000円
 1,256,000円

イ. 治安の維持

奥地移住地の治安維持のため、前年度に引続き次の各移住地に請願巡査等の常駐で依頼し、これに対し謝金を支払った。

移住地	管轄支部	常駐警官等
アルトパラナ移住地	アスンシオン支部	12人
フラム "	"	17
イグアス "	"	7
サンフェン "	サンタクルス支部	6
第2トメアス "	ベレン支部	1
計		53

予算 1,718,000円
支出 1,303,519円

なお、前年度より繰越した治安事務所建設工事等はすべて完成し、本年度は各施設の什器備品の整備に努めた。

(6) 各種施設の整備

サンフェン 40.7月完成 支出額 30,045.42

7F3771

アルトパラナ 職員宿舎 41.3.16 954,235.12 (41.3.16)
実住居 116,189.24 (41.3.16)

前年度より繰越した工事は全て完成したほか、40年度はサンタクルス支部管内サンフェン農場に車庫、厩舎等を建設した。

サンフェン 職員宿舎 40.7月完成 3棟 支出額 46,899.32

~~サンフェン 756~~

アスンシオン アルトパラナ 車庫 155,846.28 (41.3.16)
支那竹棲業 154,452.32
取居所 197,931.32

7. 移住者が入植するための土地の取得，造成，管理及び譲渡並びに取得のあっせんを行なう業務

前年度実施の調査結果に基づき総合的な入植地建設計画を樹立したうえ，入植地造成・分譲及び管理等の事業を行なった。

(1) 入植地の造成

ア. プエノスアイレス支部

アンデス入植地

排水路 980m を掘削し前年度実績に加え合計 6,100 m を完成したほか，粗整地 2 ロット (10ha) 仕上整地 120 ロット (73ha) 道路 1375 m，用水路 1970 m 等の工事を施工した。この結果，造成済ロットは 65 ロットとなり，計画に対して残ロットは 4 ロットのみとなった。

また土壌を改良し保全するための業務として，入植地 87.5ha にアルファルファ及びトマトを植付けた。ほか，地下揚水状況の試掘を兼ねた飲料水用深井戸 1 本を掘削 145m にて水脈に到達し目下水質検査中である。

イ. アスンシオン支部

ア. アルトパラナ入植地

前年度実施した航空測量及び本年度実施した実地測量の結果に基づき入植地基本計画を作成中である。

ブ. イグアス入植地

道路 8 km，橋梁 2ヶ所，暗渠 4ヶ所の工事を実施し 81 ロットを造成した。なお，強風により入植地約 6,000ha にわたり，風倒木が生じたので，火災予防等のため売却処分した。

ウ. 現地法人 (ジャミック Ltda)

(ア) ベレン支部

第 2 トメアス入植地

土地分類調査のため 78km の踏査を行なうと共に，30 ロットの区画割を実施したほか，道路新設 10.6km 同補修 63.9km，橋梁 1ヶ所及び暗渠 8ヶ所の工事を完成した。この結果造成済ロットは 103 ロットとなった。

(イ) サンパウロ支部

ア. ジャカレイ入植地

未入植地域の排水路補修および道路補修工事を行なった。

ブ. ガタバラ入植地

道路および用水路の補修，ロット調整等を実施した。

(ウ) リオ・デ・ジャネイロ支部

フンチャール入植地

未入植地域の路面補修を行なった。

(2) 市街地の造成

ア. アルト・パラナ市街地

道路 1.63km の工事を施工したが、ロッテ割には至らなかった。

イ. イグアス市街地

測量 6.5km 道路 1.3km の造成を行ない、商業住宅区(含公共用地) 20 ロツテ及び小農園 2 ロツテの造成が完了した。

ウ. フラム市街地

道路 6.45km, 橋梁 2ヶ所, 暗渠 12ヶ所の工事を実施し、商業住宅区(含公共用地区) 84 ロツテ, 小農園区 11 ロツテ, 工場用地 4 ロツテ, 牧場用区 3 ロツテ及び墓地 1 ロツテを造成した。

(3) 造成地の分譲

ア. 入植地の分譲

入植地の分譲状況は次のとおりである。

支 部 名	入 植 地 名	造 成 ロ ッ テ 数			分 譲 ロ ッ テ 数							解 約 ロ ッ テ 数	差 引 計	残 ロ ッ テ 数
		前年度迄の 累 計	本年度造成 ロ ッ テ 数	計	前年度迄の累計		本年度分譲 ロ ッ テ 数		計					
					内地分譲	現地分譲	内地分譲	現地分譲	内地分譲	現地分譲	小 計			
アスンシオン	アルト・パラナ	903	0	903	334	94	4	14	338	108	446	36	410	493
	フ ラ ム	497	0	497	432	177	0	0	432	177	609	112	497	0
	イ グ ア ス	263	81	344	27	49	13	20	40	69	109	3	106	238
ブエノス・アイレス	ガルアベー	97	0	97	75	13	0	0	75	13	88	4	84	13
	ア ン デ ス	45	20	65	15	10	1	0	16	10	26	1	25	40
サンパウロ	バルゼア・アレグレ	62	0	62	51	0	0	0	51	0	51	16	35	27
	ジャカレイ	87	0	87	33	3	1	0	34	3	37	1	36	51
	ピニャール	60	0	60	7	32	3	9	10	41	51	0	51	9
	ガタバラ	375	0	375	131	0	2	0	133	0	133	0	133	242
リオ・デ・ジャネイロ	ワンチャール	77	0	77	50	4	0	0	50	4	54	4	50	27
ベレ ン	第 2 トメアス	73	30	103	10	39	5	7	15	46	61	0	61	42
合 計		2,539	131	2,670	1,165	421	29	50	1,194	471	1,665	177	1,488	1,182

イ. 市街地の分譲

40 年度においては市街地の分譲は実施されなかった。

8. 法第21条第8号及び第9号に掲げる融資業務

(1) 貸付及び回収実績

資金の貸付および回収の実績は次のとおりである。

区 分	本 部 扱 融 資			現地法人(イジュウシニコウ)扱融資		
	科 目	39年度実績	40年度実績	科 目	39年度実績	40年度実績
貸 付 実 績		円	円		クルゼイロ	クルゼイロ
(新勘定)	渡航前貸付金	13,300,000	2,500,000			
	現地貸付金	119,536,905	77,879,150	現地貸付金	609,291,230 (120,703,096)	825,702,000 (135,763,383)
	計	132,836,905	80,379,150	計	609,291,230 (120,703,096)	825,702,000 (135,763,383)
回 収 実 績						
(新勘定)	現地貸付金			現地貸付金		
	元本回収収入	79,433,659	50,839,293	元本回収収入	120,152,416 (23,802,687)	302,273,985 (49,700,423)
	利息収入	5,354,946	5,469,566	利息収入	44,896,029 (8,894,088)	92,055,290 (15,135,893)
	計	84,788,605	56,308,859	計	165,048,445 (32,696,775)	394,329,275 (64,836,316)
(旧勘定)	渡航費貸付金					
	元本回収収入	347,765				
	利息収入	102,311				
	計	450,076				
	渡航前貸付金					
	元本回収収入	976,453	3,352,712			
	利息収入	352,095	1,544,657			
	計	1,328,548	4,897,369			
	現地貸付金			現地貸付金		
	元本回収収入	37,467,974	21,790,886	元本回収収入	102,911,212 (20,387,134)	49,612,546 (8,157,382)
	利息収入	10,139,996	5,946,855	利息収入	23,752,881 (4,705,543)	12,144,438 (1,996,810)
	計	47,607,970	27,737,741	計	126,664,093 (25,092,677)	61,756,984 (10,154,192)

区 分	本 部 扱 融 資			現地法人(イジュウシンコウ)扱融資		
	科 目	39年度実績	40年度実績	科 目	39年度実績	40年度実績
(合 計)	農工企業貸付金			農工企業貸付金		
	元本回収収入	29,188,999	3,130,413	元本回収収入	2,400,000 (475,450)	
	利息収入	6,443,643	12,481,783	利息収入	260,800 (51,665)	
	計	9,362,542	15,612,196	計	2,660,800 (527,115)	
	旧勘定合計			旧勘定合計		
	元本回収収入	41,711,091	28,274,011	元本回収収入	105,311,212 (20,862,584)	49,612,546 (8,157,382)
	利息収入	17,038,045	19,973,295	利息収入	24,013,681 (4,757,208)	12,144,438 (1,996,810)
	計	58,749,136	48,247,306	計	129,324,893 (25,619,792)	61,756,984 (10,154,192)
	新旧勘定合計			新旧勘定合計		
	元本回収収入	121,144,750	79,113,304	元本回収収入	225,463,628 (44,665,271)	351,886,531 (57,857,805)
利息収入	22,392,991	25,442,861	利息収入	68,909,710 (13,651,296)	104,199,728 (17,132,703)	
計	143,537,741	104,556,165	計	294,373,338 (58,316,567)	456,086,259 (74,990,508)	

(注) () 内は期末日の銀行公定レートによる円換算額 39年度 1グルゼイロ=0.19810410958円 40年度

1グルゼイロ=0.1644217687円

(2) 資金貸付概要

ア. 渡航前融資

渡航前融資の実績は前年度に比し、大幅に下廻ったがこれはガタバラ移住者およびその他の移住者の送金が減少したこと、ならびに渡航前融資の融資条件である地方公共団体の保証が得難くなってきたためである。

イ. 現地貸付

主としてパラグアイとボリビアにおける貸付不振により前年度実績を下廻ったが、パラグアイにおいては

- a. 悪天候による短期作物の減収に伴う収穫販売資金の減少
 - b. イタプア農協連の破綻と組合経営の混乱による移住地の正常な経済運営の阻害
- などのため貸付が伸びず、
ボリビアにおいては、

a. 米価好調に伴うサンファン、沖縄移住地の集荷販売資金等の自衛態勢

b. サンファン農協再建遅延による資金需要の未発生

などのため貸付がなかった。

なお、その他一般的な理由として現地金融機関利用者の増加、集団移住の減少、パラグエイ国移住地ではマテ茶、油桐に対する営農規模拡大化が停滞したことなどがあげられる。

ウ. 伯法人扱融資

第1・四半期、一時資金不足から貸付停止を余儀なくされたが、その後は資金調達面も順調に推移したため貸付は計画的に実施され、可成りの成績をおさめた。

(3) 資金回収概要

債権管理態勢の整備も漸次軌道に乗り、上記実績表のとおり渡航前融資、農工企業貸付、伯法人扱融資においては、前年度を上廻る実績をあげることができた。しかしながら本部扱現地貸付の回収額はパラグエイ、ドミニカの不振を主因に前年度実績を下廻った。

パラグエイの回収不振は(2)(イ)の事情にもとづき、ドミニカの回収不振は動乱による。

9. 法第21条第1項第11号に規定する特殊業務

(1) 倉庫賃貸事業

(ア) エンカルナシオン第1倉庫(アスンシオン支部)

昭和31年エンカルナシオン市に建設した建坪415m² 収容能力500トンの倉庫で、昭和39年10月イタプア農協連と賃貸契約(契約期間3ケ年)を結び現在に至っている。

(イ) エンカルナシオン第2倉庫(アスンシオン支部)

昭和37年エンカルナシオン市に建設した建坪720m² 収容能力1,000トンの倉庫で昭和40年11月イタプア農協連と昨年引続き賃貸契約を結んだ。

(ウ) サンタクルス第1倉庫

昭和37年サンタクルス市に建設した建坪300m² 収容能力420トンの倉庫でサンファン農協と40年3月賃貸契約を結んだ。

(エ) サンタクルス第2倉庫

昭和38年サンタクルス市に建設した第1倉庫と同規模の倉庫で、沖縄組が40年1月賃貸契約を破棄して以来使用していない。

(2) 牧場事業

伯国法人(ジャミックLtda)において、遊休移住地の活用並びに入植地の営農改善(種畜の供給等)に資するため、前年に引続いてチエテ牧場、バルゼア・アレグレ牧場及びサント・アントニオ牧場を経営したが、昭和40年度は期首飼育頭数2804頭、年度内売却頭数962頭、年度内増殖(含買入)頭数、1,210頭及び当期末飼育頭数3,052頭であって、牧頭として好成績をおさめた。

2. 資 金 収 支 実 績

資 金 収 入 実 績 表

自昭和40年4月1日至昭和41年3月1日

(単位：円)

収 入 の 部						支 出 の 部					
款	計 画 額	実 績 額				款	計 画 額	実 績 額			
		出 資 金	交 付 金	そ の 他	計			出 資 金	交 付 金	そ の 他	計
〔一般勘定〕	〔2,164,844,000〕	〔1,071,027,691〕	〔1,507,926,529〕	〔15,248,888〕	〔2,394,203,108〕	〔一般勘定〕	〔1,923,232,000〕	〔1,034,299,062〕	〔1,287,315,617〕	〔15,314,118〕	〔2,336,928,797〕
前期繰越金	426,854,000	432,656,751	212,063,901	3,925,828	648,646,480	送出管理費	268,620,000	288,254,114	155,000	288,409,114	
交付金収入	1,096,279,000		1,093,241,000		1,093,241,000	送出事業費	47,018,000	38,177,377	49,340	38,226,717	
出資金収入	200,000,000	200,000,000			200,000,000	地方事務所費	161,199,000	166,517,767		166,517,767	
運用部借入金収入	400,000,000	400,000,000			400,000,000	移住センター費	40,979,000	41,033,262	996,648	42,029,910	
預金利息等収入	9,620,000	13,860,504			13,860,504	受入管理費	365,426,000	319,947,146		319,947,146	
受入雑利息	23,244,000	17,638,210			17,638,210	受入事業費	180,681,000	209,825,405	6,232,415	216,057,820	
雑収入	8,847,000	697,669	1,244,605	10,206,250	12,148,524	支払利息	26,000,000	26,000,000		26,000,000	
未収金精算等収入	-	2,328,567	1,377,023	1,116,810	4,822,400	運用部借入金返済	200,000,000	200,000,000		200,000,000	
未達勘定収入	-	3,845,990			3,845,990	差入保証金	90,000,000	90,000,000		90,000,000	
						未払金精算等支出	-	3,898,788	19,825,546		23,724,334
						国庫預り金			116,826,936		116,826,936
						次期繰越金	502,106,000	714,400,274	86,908,064	7,880,715	809,189,053
						予備費	41,203,000				0
〔渡航費貸付勘定〕	〔361,129,000〕	〔	〔	〔81,167,179〕	〔81,167,179〕	〔渡航費貸付勘定〕	〔361,129,000〕	〔	〔	〔81,101,949〕	〔81,101,949〕
渡航費貸付資金借入	169,320,000			79,101,954	79,101,954	渡航費貸付金	169,320,000			79,101,954	79,101,954
渡航費貸付金回収収入	191,809,000			1,999,995	1,999,995	渡航費貸付金返済	191,809,000			1,999,995	1,999,995
未収金精算等収入	-			65,230	65,230						
〔融資勘定〕	〔728,757,000〕	〔503,931,673〕	〔	〔	〔503,931,673〕	〔融資勘定〕	〔751,076,000〕	〔462,872,508〕	〔	〔	〔462,872,508〕
貸付金元本回収収入	107,746,000	100,231,528			100,231,528	貸付金	271,500,000	213,707,333			213,707,333
貸付金利息収入	27,053,000	19,195,564			19,195,564	スワップ買戻し金	70,000,000	57,547,619			57,547,619
スワップ買戻し収入	180,000,000	57,547,619			57,547,619	スワップ取組金	144,000,000	118,383,674			118,383,674
スワップ取組収入	182,500,000	150,034,864			150,034,864	支払利息	9,125,000	8,029,963			8,029,963
289号取組収入	182,500,000	150,034,864			150,034,864	管理費	6,799,000	5,435,694			5,435,694

収入の部					支出の部						
款	計画額	実績額				款	計画額	実績額			
		出資金	交付金	その他	計			出資金	交付金	その他	計
強制預金	48,958,000	22,525,782			22,525,782	強制預金	179,652,000	2,220,606			2,220,606
受入雑利息	-	1,869,411			1,869,411	289号取組金	70,000,000	57,547,619			57,547,619
預金利息	-	2,488,095			2,488,095	(旧勘定)	(588,751,000)	(498,793,646)	()	()	(498,793,646)
雑収入	-	3,946			3,946	造成工事支出金	93,315,000	54,448,896			54,448,896
(旧勘定)	(339,458,000)	(150,829,236)	()	()	(150,829,236)	直営事業支出金	20,079,000	11,959,937			11,959,937
入植地売上収入	15,533,000	16,488,653			16,488,653	スワップ買戻し金	9,200,000	7,563,401			7,563,401
移住地雑収入	10,733,000	12,952,473			12,952,473	長期借入金返済	362,600,000	362,600,000			362,600,000
貸付金元本回収収入	43,226,000	36,431,394			36,431,394	支払利息	7,039,000	4,158,809			4,158,809
貸付金利息収入	19,930,000	24,421,885			24,421,885	管理費	4,627,000	5,143,001			5,143,001
直営事業収入	23,873,000	14,957,378			14,957,378	ガタバラ事業支出	61,891,000	51,074,948			51,074,948
雑収入	2,150,000	2,647,485			2,647,485	未払金精算等支出	-	1,844,654			1,844,654
強制預金	6,552,000	4,932,653			4,932,653						
ガタバラ事業収入	12,136,000	2,230,805			2,230,805						
ガタバラ事業貸付回収収入	0										
受入雑利息	25,325,000	26,996,464			26,996,464						
スワップ買戻し収入	180,000,000	7,563,401			7,563,401						
預金利息	-	141,215			141,215						
未収金精算等収入	-	1,065,430			1,065,430						
(円換算調整勘定)		(270,176,616)	(20,610,912)	()	(249,565,704)						
合計	3,594,188,000	1,995,965,216	1,287,315,617	96,416,067	3,379,696,900	合計	3,594,188,000	1,995,965,216	1,287,315,617	96,416,067	3,379,696,900

(注) 円換算調整勘定は連結勘定の確定円額と期末日レート換算円額との差である。なお、同「出資金」欄には、伯国法人イジュンコウS.Aのスワップ解約に伴う事業団借入金返済¥40,929,402 (Or\$247,712,951 × 期末日レート) に対し、本部受入額¥332,209,427 差引¥291,280,025 の円換算調整額が含まれている。

